

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性  
審査に関する事業者ヒアリング(136)、(169)」

2. 日時：令和5年2月20日(月) 16時15分～18時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者(※：TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、野田企画調査官、佐口主任安全審査官、  
谷主任安全審査官、海田主任安全審査官、鈴木安全審査専門  
職、宮脇安全審査専門職、大井安全審査専門職、西来主任技  
術研究調査官、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他9名※

電力中央研究所 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造(コメント回答)第1078回審査  
会合を踏まえ認識した課題への対応方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁の認識です。それでは
0:00:06	ヒアリングを始めたいと思います。これからのヒアリングですけれども、浜岡原子力発電所敷地の地質地質構造コメント回答ということで、大山。
0:00:16	78 回審査会合を踏まえ、認識した課題への対応方針という、本日の資料をもって、を用いて行いたいと思います。
0:00:25	それでは説明の方を中部臨空りお願いいたします。
0:00:31	はい、チーム電力アマンでございます。前回 2 月 3 日の日に、ヒアリング実施いただきましてそこでご確認いただいた。
0:00:42	事実等で、わかりにくい部分等ございましたので、資料の方を修正して参りました。今からご説明させていただきたいと思います。20 分程度いただきますよろしくをお願いいたします。
0:00:56	はいそれでは説明の方をお願いいたします。
0:01:00	はい。中部電力の森本でございますよろしく申し上げます。資料ですけれども右肩の番号。
0:01:06	一応支援 253 の R01。
0:01:09	本日の日付のものを使ってご説明させていただきます。
0:01:13	2 月 3 日からの変更点を中心にご説明させていただきます。
0:01:17	まず 2 ページからお願いします。
0:01:25	一番下のあ、ごめんなさいこのスラップします。
0:01:30	御説明していく H Q 断層の活動性評価全体方針を示した。
0:01:35	ものでございます。
0:01:37	このスライドの全体方針を変えているという点には変更はないんですけれども一番下の箱書きの部分ですね。
0:01:45	この資料の小俣哲形といいますかこういうことを書いてますところを、箱で示して、
0:01:53	おります。
0:01:54	泥層の堆積年代にしております。で、4.6. 二章で説明する、ご説明させていただく評価方針を示したものがこの資料でございます。
0:02:04	このなお書きの部分になるんですけれども前回のヒアリング資料ですと、
0:02:11	第 1078 回会合、
0:02:14	説明内容を再構成して基本的な

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	方針というのは、
0:02:19	変えていませんと。
0:02:21	いうふうに記載をしておりましたが、
0:02:24	評価方針としてですね一部説明の順序であったり、
0:02:28	評価の比べる対象であったりというところが変わってる部分もございますので、
0:02:35	そういった観点の変更点。
0:02:37	後
0:02:40	1枚スライドを追加してですねご説明させていただくような形にさせていただきました。
0:02:47	具体的にはですね、3ページの内容になります。
0:02:53	3ページ、泥層の堆積年代についての評価方針の変更点ということで
0:03:00	概念図等を使ってご説明して、
0:03:02	させていただきます。
0:03:04	まず左側、2078回、会合における評価方針ですけれども、
0:03:09	まず鍛冶括弧つきの泥層の中には、年代指標となる明瞭な火山灰が認められませんでしたので、
0:03:16	御前崎地域の年代がすでにわかっている堆積物の関係を用いた検討と。
0:03:21	いたしまして、
0:03:23	泥層藤堂標高に分布する上部更新統との比較を中心として検討に基づき、その堆積年代を説明、評価説明しておりました。
0:03:34	具体的にはですね地形層序解析等から、泥層と同標高に分布すると。
0:03:40	いう結果がえられました。笠名礫層、これがM I S 5 c の海成段丘堆積物で、
0:03:46	それとですね古谷泥層、M I S 5 e に至る開始に伴う堆積物、
0:03:51	この二つの基礎がございますので、
0:03:55	それぞれに対し、
0:03:58	鍵括弧つきの泥層と比較を行いまして、
0:04:02	泥層というのは、笠名礫層と似ていなくて、古谷泥層にているということから、
0:04:09	N - S は古谷泥層に対比されるという判断をして年代としても、12 から13 万年前であるという評価をしておりました。
0:04:17	右側、今後説明していく評価方針とさせていただきますが、まず火山灰ですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:25	本当に火山灰年代指標となるものが認められないのかというところをです ね、クリプトテフラも対象に含めて、改めて検討していくと。
0:04:34	いう内容をまず、やっていきます。
0:04:37	それに加えて、
0:04:40	御前崎地域の年代がすでにわかっている堆積物との関係を用いた検討と して、
0:04:46	まずは御前崎地域の標高約 50 メートル、
0:04:50	B F 4 地点に該当する、50 メートルに分布する開始に伴う堆積物、
0:04:55	というのは、誤飲に至る開始に伴う堆積物として、約 12.5 万年前の海成 段丘堆積物よりも古いんだと。
0:05:03	評価できるというところを文献調査、それから地形層状解析等から、示 していきます。
0:05:10	その上で、兵庫 50 メートルに分布する泥層というのが、開始に伴う堆 積物に該当すると。
0:05:17	いうところを、
0:05:18	グローバルな臨床であります開始に伴う堆積物が持つ特徴を、泥層が持 っているかどうかというところを物証によって確認することで判断をい たしまして、
0:05:30	泥層の年代というのが約 12 から 13 万年前であることを示して、
0:05:34	いきますという、そういった流れでございます。
0:05:37	で、
0:05:38	泥層というのが笠名礫層。
0:05:41	と。
0:05:41	概ね同標高に分布するという事実がございますので、その点については ですね、泥層が笠名礫層と同時代、
0:05:49	見過ごしの堆積物でないということについても、部署を持って、示して いくというものでございます。この部署というのが、
0:05:59	泥層を聞くものでございますが、泥層と笠名礫層当初とそういう関係、 前回の年末の
0:06:09	会合でも、重点的に調査をしていますと。
0:06:12	そういった内容であったり、笠名礫層中に認められる広域テフラという のが、泥層中にないということ等を、部署間で確認していくと。
0:06:20	いう、調査を進めているところでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:25	あと下のイメージ図で示しておりますのは、御前崎地域の年代がすでにわかっている、堆積物との、
0:06:32	環境を用いた検討をイメージで示したものでございます。
0:06:38	1078回のものについては、青色の古谷泥層、赤色の笠名礫層と似ている似ていないのを対比を行って、
0:06:49	12から13万年前だという評価をしておりましたが、今回は、
0:06:54	まず御前崎地域に、
0:06:57	分布する、兵庫50メートルの堆積物というのは、何がわかれば年代が決まるんだというところをしっかりと文献、それから付け層状解析等を使って、説明した上で、
0:07:09	それに古谷泥層が該当する、ごめんなさい。かぎ括弧つきの泥層というのが該当するかどうかと。
0:07:15	いうのを示していくクッションによって確認していくという流れになっております。
0:07:21	当然越野田井、海成段丘堆積物2との関係も見ていくわけですがけれども、
0:07:29	ディテール似ていないの議論ではなくて、直接的にそういう関係が確認できる露頭がないかどうかを確認を探しに行くと。
0:07:37	ということと、
0:07:38	その笠名礫層中に認められる広域テフラが、
0:07:41	鍵括弧つきの泥層の中に入っているのかいないのかというところの確認をもって、その時代のご支援の時代のものでないというところを示していくと。
0:07:52	いうところをイメージ図でお示ししております。
0:07:55	そういった前回と違っている点を、こちらで1枚追加させていただきました。
0:08:04	続いて4ページの内容になりますが、まずこちらはですね泥層の堆積年代評価の全体方針ということで、
0:08:15	こういった章構成で、どこで何を説明するのかというのを、ずっと文章でお示ししたものでございます。
0:08:24	前回のヒアリングでは、全体方針という記載と、この図の中のですね4.6.
0:08:31	2.1、一番左側の
0:08:34	堆積年代評価方針というところで、少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:38	記載の不整合がございましたので、
0:08:41	全体方針としてはですねこの
0:08:44	黄色の箱書きに書いてあるようなことを、
0:08:48	評価していくという方針に記載を統一させて、
0:08:52	統一いたしますと、
0:08:55	この黄色の箱書きの中身ですけれども、前回火山灰分析と、
0:09:04	火山灰分析 4.6. 2. 二章の内容と、4.6. 2.3 章、年代基準の堆積物の関係を用いた検討。
0:09:13	こういったところの関係が少し、読みにくい実際と違うのではないかというご指摘もいただいておりますので、
0:09:19	その辺り記載を改めております。
0:09:22	2 ポツの部分ですけれども、まず火山灰については、こちらは前回
0:09:28	第今までですね、火山灰がないというところをご説明していたところではありますが、
0:09:34	本当に示せないのかというところを改めて検討すると。
0:09:38	いうものでございます。
0:09:40	3 ポツの部分に移りまして、この火山灰による検討からの評価が困難だという、
0:09:46	判断をした場合、年代既知等の
0:09:50	年代既知の堆積物との関係が、示せないかというところで、
0:09:57	また次、次のフェーズに移っていくという流れを、こちらの方で記載しております。
0:10:05	で、その 4.6. 2.2 と 4.6. 2.3 の関係をもう少しフロー図で展開したものが、5 ページ。
0:10:14	になります。
0:10:18	まず火山灰、フロー図左側からスタートいたしましてまず火山灰を用いた検討で年代が示せないかと。
0:10:28	いうところを検討した上で、
0:10:32	それが難しいと。
0:10:35	か。
0:10:36	乱売がないだとか、
0:10:38	降灰層準等認定できない、こういった判断になった場合、
0:10:43	右の方に移っていきまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:46	年代がすでにわかっている堆積物との関係を見てやるという流れに改めております。
0:10:54	その関係が見えるように、このスライドを、
0:10:57	ちょっと1枚、追加させていただきました。
0:11:02	それから前回、年末の審査会合においてですね重点的に実施している追加調査として、
0:11:11	鍵括弧つきの泥層の詳細な分布状況それから、笠名礫層層相等との層位関係。
0:11:18	これをですねどこどこで、検討しているのかというご指摘ご質問も、
0:11:24	前回のヒアリングではございましたので、このフローの中でですね、
0:11:29	具体的にはここに該当するものと。
0:11:32	いうところを、
0:11:35	赤の吹き出しで示しております。
0:11:40	泥層の分布状況については、
0:11:46	泥層と共通した特徴を持つ堆積物というのが、御前崎に広域的に分布するのかと。
0:11:53	いう検討の一環でやっている。
0:11:55	いうものともものです。
0:11:57	それから、笠名礫層との層位関係については、このフローからは少し外れてはいってしまうんですけども、
0:12:05	戸越の堆積物と同じ標高に鍵括弧付のベースが分布するというところを踏まえて、それについてもしっかり検討していくという位置付けでございますので、
0:12:17	この4.6. 2.3の中で、関係性というのを見ていくと。
0:12:21	ところをフローの中でも示させていただきました。
0:12:30	6ページの方に移っていただきまして、ここからは、
0:12:37	堆積年代評価の各県の個別方針ということで、
0:12:41	4.6. 2章の中で具体的に県、
0:12:46	通していく内容を、
0:12:50	個別の方針ということで示しております。
0:12:54	修正点といたしましてはまず6ページの下箱がキーの部分。
0:13:01	えっと海成段丘堆積物というキーワードが少し、定義が曖昧で読みにくいというご指摘をいただいておりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:10	米印、※の一番ですね、少し我々の考え、こういうて、資料上の定義を追記させていただきました。
0:13:23	海成、平たん面を形成する前回から海浜堆積物というのを、この資料の中では海成段丘堆積物として呼んで説明をしております。
0:13:34	それから回診についても、少し後、ご指摘を借りにくいというご指摘いただいておりますので、
0:13:42	これの2番ということで、キーワードとしてほいでしております。
0:13:48	予定海面期から高海面期にかけてのグローバルな海水準の上昇を、上昇現象というのを改新と。
0:13:55	ほんでこの資料説明を、
0:13:57	させていただきます。
0:14:01	そういった修正を行っております。
0:14:07	次7ページ8ページについては個別の検討内容。
0:14:14	博展との個別方針ということで、従来から少し文章が閉、わかりやすくなるような見直しを、
0:14:21	行っております。
0:14:30	次9ページの方移っていただきまして、
0:14:37	こちらは
0:14:41	泥層が回診の堆積物だと、はい新規の堆積物だということを示すために、
0:14:47	具体的に何をやっているのかというところをもう少し詳しく、記載したところがございます。
0:14:52	こちらについてももう少し文章をわかりやすくなるような、記載の適正化を、
0:14:58	A T F、
0:14:59	細かい修正を入れさせていただきました。
0:15:05	その他は記載の統一等を行っておりますが、少し飛んでいただきまして13ページをお願いします。
0:15:18	今後の審査工程ということで、工程表をお示ししております。
0:15:24	前回2月の初旬のヒアリングでは、真ん中の段、調査結果についてのご説明時期というのを、3月、
0:15:34	前半に入れておりましたが、
0:15:37	現在の調査の進捗が少しずれ込んでおります半月ほど、
0:15:43	少し

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:46	遅れておりますので、
0:15:48	その実績を反映してですね、調査結果の御説明時期というのも、3月、
0:15:53	後半、中旬から下旬にかけてのところに、少し工程の見直しを行っております。
0:16:03	こういった工程の変更をさせていただきました。
0:16:08	それから変更点として
0:16:11	18 ページを少し飛んでいただきましてお願いします。
0:16:19	方針はこのようにしていきますという資料は以上になりますが、こちらからですね追加調査の状況を、
0:16:26	説明する、スライド。
0:16:29	になっております。
0:16:31	2月3日のヒアリングですと、年末のヒアリング、ごめんなさい審査会合からですね
0:16:37	そのまま年末時点の調査状況をつけておりましたが、
0:16:43	今回、最新版にアップデートをしております。
0:16:48	19 ページは追加調査の状況ということで今行っている調査を地点ごとにまとめて記載したもので、
0:17:00	ございます。
0:17:03	中身は、後程説明させていただきます。
0:17:09	20 ページからですね、泥層の分布状況を調査しているというところの説明スライドになりますが、こちらのアップデートした内容としましては、21 ページ、
0:17:21	お願いします。
0:17:25	トレンチ、
0:17:27	もう今回2ヶ所を追加し、
0:17:32	掘削を年末時点からですね行っておりますのでその情報を追加しております。
0:17:38	生活する場所としましては平面図で三つトレンチに並んでおりますけれども、
0:17:43	左側、2ヶ所のトレンチが今回追加になっているトレンチです。
0:17:50	その露頭写真が、23 ページ、それから24 ページ。
0:17:55	になります。
0:17:58	ちょっとまだとりあえず堀館野状況でございまして解釈線等は入れられておりませんが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:06	B F 4 地点の南東側においてですねトレンチ掘削しましたところ、厚さが1メートル以上の堆積物を確認しております。
0:18:17	現在層相の観察とですね試料分析を行いましてその性状を詳細に確認している。
0:18:24	ところです。
0:18:25	もくろみとしましては、こちらで海成堆積物二相海成と判断できる。
0:18:32	明らかにですね海成と判断できる性状が確認できれば、
0:18:38	年代評価上も、中にプラスになるだろうというところでそういった分析を今やっているという、
0:18:45	状況でございます。
0:18:51	こういったトレンチの状況を2ヶ所追加します。
0:18:55	25ページの方に次移っていただきまして、フレア泥層の追加調査も現在行っておりますので、
0:19:06	その状況を説明するスライドがここから13ページにわたって、
0:19:12	追加しております。
0:19:17	まず25ページの内容ですけれども、
0:19:20	B F 案でございます。鍵括弧つきの泥層というのが、どれぐらい広がっているかという検討の中でですね、
0:19:29	これと共通した特徴を持つ税理土堆積物が、
0:19:32	御前崎地域に広がっているというところも多い。
0:19:37	を示すと。
0:19:39	いう観点で、
0:19:41	仮カワチ行つきの泥層と共通した特徴を持つ、可能性が高い、古谷泥層、
0:19:49	これについての調査を行っております。
0:19:54	すでに均一。B F 1 地点という2ヶ所がございますが、今ですね比木南地点それから宮内地点と、
0:20:01	12ヶ所で追加の調査を行っております。
0:20:06	追加にした理由と観点ですけれども、まず、比企南伊井については、これは文献で指摘されている地点でございます、
0:20:15	泥層と同じように貝化石を含まない、非化石のシルト層の存在が指摘されているという地点でございます。
0:20:23	それから、宮内ですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:27	こちらについても、詳細について記した文献はないんですけども地質図にですね、古谷泥層の分布域と、
0:20:34	して示されている箇所でございます。
0:20:37	B F 1 地点に次いで、B F 4000 近い時点となりますので、その時点の調査を今行っております。
0:20:46	26 ページ 27 ページが現在の調査状況です。こちらの露頭写真を今追加してる所。
0:20:56	通過してるだけですけども現在試料分析を行っているような、
0:21:00	詳細な調査を行っている状態です。
0:21:03	まず 26 ページが、比木南地点、
0:21:06	でございます。
0:21:09	ミウラと同じような標高約 50 メートルぐらいですね電子堆積物を確認しております、現在
0:21:18	試料分析を行って、性状を詳細に確認しているところです。
0:21:26	27 ページに関しましては、宮内地点です。
0:21:32	属の平面図をスライドにつけてございますが、B F 1 地点と同じようにですね島のような形で古谷泥層が分布すると。
0:21:45	というような指摘がされている箇所になります。
0:21:48	古閑野呂等で調査を、
0:21:51	行っておりますが指摘されている箇所になります。
0:21:54	このところで、ちょっと写真に示しますように、提出堆積物が確認できておりますので、ところについても今分析をやっているという状況でございます。
0:22:05	古谷泥層を、こういった B F 4 地点とよく似てきておりますので、性状がられそうなところですね、
0:22:17	いらっしゃるところで、古谷泥層に範囲を広げて調査をしているという状況を説明するスライドを今回追加させていただきました。
0:22:32	前回、2 月 3 日、
0:22:35	のヒアリング資料からの大きい変更点と、
0:22:39	前は、ヒアリングの変更点としては以上になります。
0:22:50	はい。規制庁、ニシキです。
0:22:53	説明ありがとうございました。それでは
0:22:57	資料の内容についての確認の方を始めたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:03	それはまず私の方からですけども、まず全体的なところのテーマの資料の2ページのところで、
0:23:14	全体の
0:23:15	方針っていうのが書かれ、
0:23:18	て言って、3ページ目のところこれ今回新たに見せかけたとして追記いただいたところかと思うんですけども、
0:23:29	まずこの全体、途中設営説明の中でもあったと思うんですけども、何て言いますか、9月31078回の会合のときに、5点、五つほどその
0:23:44	審査の観点といいますかそういうところでコメントさせていただいてると思うんですけども、
0:23:49	この中の説明の中では、基本なんていいますか、古谷泥層かどうかっていうのを
0:23:56	も見ていきますよそれを、
0:23:58	笠名笠名礫層との違いと、あと古谷泥層と同じかどうかっていうのをかぎ括弧つきの泥層に対して
0:24:07	照らし合わせていくという作業がここに書かれてるかと思うんですけども。
0:24:12	何か最後の方で9月30日の会合でも指摘した⑤って形で、それ以外の堆積物の違いをどう説明していくのかっていうところについては、
0:24:23	この中にちょっとあまり、
0:24:24	その中入ってきてないのかなって気はしたんですけども。ていうのが一つ。もう一つは、これは芝田委員からのコメント等もありましたけどもその広域的な地質調査をして、その中、その中で、
0:24:39	古谷泥層でも一体全体像としてどういうもん像やってことがわかった上で、その泥層っていうのはどういうもんですかっていうところ。
0:24:49	そもそもその古谷泥層ってどういうもんですかっていうところをもう少しいろいろ
0:24:55	広域的に調べないのかっていうところで追加調査ってことで2点ほどあったかと思うんですけども、
0:25:01	その辺の対応、調査、広域調査の点についてはこの中に入ってくるかもしれないんですけども、まずはその
0:25:13	それ以外いわゆる敷地の中の泥層とかあったと思うんですけどもあいつたものとの違いっていうものをどこでどう示していこうかっていうことについ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ては、このフロー、今回の全体の中ではどこに位置付けられるってこと かちょっと確認させていただきたいんですけれども。
0:25:36	はい。中部電力の森本です。まず敷地のなかーにいる泥層と後がいいに ついてなんですけれども、
0:25:46	ちょっとフローの方がですね大きい評価の流れ、
0:25:51	みたいなところを、
0:25:53	大枠の未明ロジックのところを記載しておりますので、少し、
0:25:58	すいませんその点の記載が抜けていたんですけれども、
0:26:03	まずは
0:26:04	フローを、
0:26:07	4ページなり5ページなりで示しているところを、
0:26:12	ご説明し切ることができれば、
0:26:16	我々としては年代としては12から13万年前といえるだろうと。
0:26:21	いうもくろみで動いていますで、当然そのためには、
0:26:26	かぎ括弧つきの泥層と同じような層準で、
0:26:30	明らかに返せるそうだと。
0:26:32	そのいえるような、何か根拠が出てこないことには、話がスタートしな いのでまずはそれをねらいに行っていると。
0:26:38	いうところがこの資料ですね。
0:26:41	当然式辞のベース堆積物の値がいいみたいところは、ご指摘、
0:26:46	そして課題として認識はしておりますので、
0:26:51	その点についてご説明させていただくんですけれども、年代評価にそれ が、
0:26:56	何ていうんすかね。主たる根拠として、
0:27:01	適地の堆積物と違うから、12から13万年前だということにはならな いのかなと。
0:27:08	そこについては規制庁さんとも、そういうご認識でいらっしゃるかなと は思ってますが、やはり違いとしては説明してくんですけれども。
0:27:19	コメント回答として、違いはご説明させていただきますが、メールディ ックからは、
0:27:23	今は外せ外して、補足的に検討としては示していく。
0:27:30	それで、
0:27:31	おります。
0:27:34	少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:35	4 ペイジーのあたりですね
0:27:40	全課いいのか、会合でいただいたかだ一飯尾どこでどう拾いに行っていくかみたいなのところをもう少し見えるように、
0:27:51	改めさせていただきます。
0:27:53	こうかなと今ちょっと考えて、
0:27:57	おります。
0:28:01	どちらかという、年末の会合はですね課題を1個1個潰しに行くみたいな説明をさせていただいて、
0:28:09	何をここもろみとしているのか考えが読めないというご指摘もあってですね、今ちょっとメインの時、
0:28:17	年代を示すために何が必要かって観点で、
0:28:21	今回まとめさせていただいてるんですが、そうするとまた、
0:28:25	課題との関係が見えないということかと思しますので、
0:28:30	そういった形でよろしいんでしょうか。
0:28:40	規制庁のニシキですけどもすいませんなんか私の聞き方が良くなかったのかもしれないんですけども、
0:28:46	ただ単純に私はその、
0:28:49	えっとですね、5 ページ目のところで今回検討フローって作っていただいているかと思うんですけども、これって
0:28:56	一番最初のスタートの子ところから来て、一番下にずっと流れていくのが
0:29:03	開けば手っ取り早いと年代評価ができるようなロジックできてるかと思うんですけども、それでそうじゃなかった場合にこういうことを示すこととしますというふうにやっていく中で、
0:29:13	最後その
0:29:15	何て言いますか、その他の堆積物の違いですよそういうそういったものとの比較も最後していくようなものも最終段階に最終的な断面とか出てくるかと、脳の方にずっと流れた場合にはですねあり得るかと思う。
0:29:29	て言って、そういったときに、あそこでの比較とか、違いがあるのかないのかってことは見ないのかなというふうに思ったのでちょっとどこに入るのかなということで一つ確認させていただいたところ、いわゆるその、
0:29:42	多分御社のお話今のお話ですと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:46	海成堆積物があることっていうのを決めにくいところでそれが決まれば別にいいじゃないかっていうところが一つあるのかなというふうに何となく聞こえたんですけども。
0:29:56	私の問題意識としてはそこ、このフローの中でそういったところを比べていけないのかなということちょっと確認させていただいたことです。はい。以上です。
0:30:09	はい。中部電力の森本です。西さんのご確認、
0:30:15	コメントいただいたご趣旨理解。
0:30:17	承知いたしました。
0:30:21	と、
0:30:23	そこの道路との違いみたいなところもですね今はまずはこういった海成堆積物、
0:30:32	が出てこないかそれから広域に広がる、
0:30:35	地層がないかっていうことを、
0:30:42	目論みにおいてですねトライしていて、それが
0:30:47	このフロー、5ページのフロー図で言いますと、すごく右端の方にですね、Noで繋がってるところがあるんですけど、
0:30:55	それが出てこなかったらうまくいくもくろみ通りいかなかった場合については、
0:31:01	これ年末の会合でも確認させていただいた数値ローリング
0:31:08	評価方針を見直してまたお示しさせていただくという、
0:31:12	ことが発生するのかなと思っております。
0:31:18	なかなかこれがうまくいかない場合は、場合によってはですねニシキさんおっしゃるように、
0:31:24	明らかに新しい敷地の中にある堆積物の違いを、
0:31:29	何かしら示せないかというところもトライしていくということも必要になるかもしれませんが、
0:31:35	ちょっとまずは一旦、
0:31:39	海成堆積物であるというところで、一歩結果が示せる。
0:31:43	だろうということでトライしてるということを今回、
0:31:46	ご説明させていただきました。
0:31:49	ちょっとまた、例えばこういうことをセーフネットとして間がていますとか、何かしらですねちょっと対応関係が見えるように、課題と、
0:32:00	いろいろいただいておりますので、その辺りとの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:04	対応関係が見えるようにちょっと工夫はさせていただきたいと思います。
0:32:08	ありがとうございます。で、
0:32:10	それからすいません、あと1点。
0:32:18	佐々木です。ニシキ線にニシキさんのご質問の2点目の広域調査。
0:32:26	についてなんですけれども、衛藤。
0:32:30	基本的にはその広域調査というのは、伊敷さんの今のコメントにもあったように、古谷泥層との対比という観点が重要になってきます。
0:32:43	その時にその広域調査をすることによって、その
0:32:48	何かしらキーベッドのようなものが見つかってくれば、
0:32:52	そういった古谷泥層との対比というのはよりやりやすくなって、
0:32:59	またBF4周りとの調査との兼ね合いもあるんですけども、そういった泥層と古谷泥層というものが、
0:33:07	そのあるキーベッドによって、よりその対比が確実なものになるということになれば、おそらくちょっとこの検討フローの中で、例えば5ページ今は、
0:33:17	5ページでいうと、左下のところ、4.6、2.5章のところに、古屋泥層と対比というふうに書いてあるんですが、これはあくまでもキーベッドがない、見つかってない現状を、
0:33:31	踏まえて、
0:33:33	今は、
0:33:34	こういったその評価の裏付け、
0:33:37	というところに、ある意味、
0:33:39	落とした形で書いてます。
0:33:41	ただ、今後広域調査をやっていったBF4周りの調査もさらに拡充していった折に、底層とその古谷泥層が、キーベッドのようなものが見つかって、
0:33:52	より対比が確実なものということになれば、またこの不検討フローも少し変わってくるのかなというふうには考えております。以上です。
0:34:06	姿勢と認識です。
0:34:08	いわゆるそのトライアンドエラーとかそのフローの見直しということになってくるってことは作業、ある種作業仮説持ってやっていくってところの中ではわかるんですけどということはあるですね今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:22	中部電力のお考えとしては、その 1078 回段階での、このコメント回答 って形で出していくにあたっては、基本、1 から 4 のコメント、
0:34:34	回答を踏まえた中身で、
0:34:37	評価方針を作ることによって、基本的には説明ができると、D5 という ものは基本がそのサブというか
0:34:44	あまり重要じゃないってようなわけで、作られてるとそういうよう なイメージを持っててもよろしいですか。
0:35:04	はい井本です。今ニシキさんおっしゃった 1 から 4 というのは本日の資 料でも 31 と 32 に記載しております
0:35:13	認識した課題という。
0:35:17	ことかと。そうです。はい。そうですね①から、この 31 ページに示し ていただいているものでは、
0:35:26	なので我々としては、ちょっとその 05 をやらなくていいという、
0:35:32	そういうのは、少し誤解があるかなと思ってまして。
0:35:35	都丸がやらなくていいというよりも、
0:35:38	今の
0:35:40	f o r ①から 05 っていうのが、今、年代を 12 から 13 万年前に示すに あたっての課題という認識で受け取ってますんで、
0:35:50	すなわち、
0:35:53	ちゃんと不海成だ、それから公益だということで完新世の堆積物だとい うことが示すことができれば、ちゃんと⑤に関しても、その課題とし ても、
0:36:04	解決できるという 1 図形です。
0:36:19	規制庁ニシキです。おっしゃりたいことは何となくわかったところす けども、ちょっと私のちょっと言い方も悪くて、午後は全くいらな いというのはちょっとありがとうございますと言い過ぎだったかもしれま せんけども、
0:36:33	唯一ですね要はコメント回答という意味で 1 から 4 で、後は、
0:36:38	何だこんこの回答に入ってこないっていうのかなと、ちょっとそうい うようなニュアンスでちょっと確認したかったというところでした。一 旦、私の方からは以上です。
0:37:22	規制庁単位ですねちょっとニシキさんの質問に答えてた中に入ってるの かもしれないですけど、何か 4 ページを見てると、
0:37:31	まず火山灰を用いた検討として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:35	火山灰をやるよと。で、
0:37:38	それが困難であると判断した場合は、
0:37:42	6.4. 6.2. 3 やりますよってというような話になってるんですけど。
0:37:49	これ、5 ページの、
0:37:53	4.6. 2. 参照っていうこの検討自体は、
0:37:58	いや、やるのはやるんですか。いや、
0:38:03	この読み方見ると、もうこのなんか 4.6. 2. 二章の火山灰が解決して るこれはもう、
0:38:11	何かいいんだみたいな感じにちょっと取ってしまったんですけど。
0:38:14	実施はするんだけど、今の森本さんの言葉を借りると、
0:38:20	メインフローじゃなくなるよってというようなことを言ってたんですけど。
0:38:25	まずそこ確認させてください。
0:38:34	はい中部電力の森元です。
0:38:40	4.6. 2 の火山灰でバシッと決まってしまうと、2.3 の内容は、
0:38:49	やらなくていいとは、
0:38:52	考えていますただ、なかなかそれは今、
0:38:56	風間純層が見つからない中で、
0:39:00	パスとしてはもう限りなく右側に近い。
0:39:03	考えておりましたので検討としては
0:39:06	2.2 の検討と 2.3 の検討、同時並行で今進めていると。
0:39:12	いうところでございますし、松葉さんの状況についてもですね、
0:39:16	両者並行してご説明させていただこうと思っております。
0:39:35	規制庁佐口ですけど、多分今の盛今さんの説明って今日のご説明ではな くって、説明自体何かっていうと多分あってそれを 5 ページの
0:39:45	右上のこの黄色で、
0:39:49	当直された四角の中に、一番最初に書いてあるんですけど、
0:39:54	やっぱり資料を普通は前の方から向こう見ていくと、4 ページのところ で、当然ながら今日 3 ぽつ、3 ポツ目とかってありましたけど、って思 うんですよね。
0:40:07	やっぱりそれー5 ページの右上の黄色のところじゃなくてまずは 4 ペー ジでこれ説明していただく必要があると私は少なくとも思っていて、
0:40:17	4 ページで、
0:40:19	今書かれていることをですね、そのまま 4、4 で理解しようとする、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:25	火山灰が見つかって、この検討で、評価ができればあとはやりませんよと。
0:40:34	で、それが難しいなど。
0:40:38	こう思った場合はもともと今までやっている、この 4.6. 2.3 章、こっちの方からいきますってなってるんですけど、少なくとも私はそう理解したんですけど、そうすると、
0:40:50	じゃあ今黄色である、例えば 4 ページのマル A とかマル B とか、
0:40:55	丸 C はまあいいのかな、マル A とかマル B って、結局、
0:41:00	火山灰の方に行ったらこの
0:41:02	丸い学びがなくなっちゃうのか。
0:41:04	ていうのと、
0:41:06	あとさっき 5 ページの話も出ましたけど、5 ページではその右上で一応そう書いてあって、ここで書いてあるのは、
0:41:14	あくまでも 4.6. 2.3 書の検討は不要なんだけれども、この詳細なフローを見ると、4.6. 2.4 章ってどうなるんですかっていうのがよくわからなくて、当然この
0:41:29	付随しているものですから評価を裏付けのための、
0:41:32	ものですから、
0:41:34	4.6. 2.2 で完結してしまえば、
0:41:39	4.6. 2.3 と 4.6. 2.4 章、これは、
0:41:45	不要になるんじゃないかと、そういうご説明をされたっていう理解でいいんですかね。
0:42:02	中部電力天野でございます。
0:42:05	すいません若干、
0:42:07	書き方で混乱を招いているのかもしれないんですが、
0:42:12	調査としてはもう全部手を全力でやると申し上げているので、全力でやってまして、今回の資料の中で、
0:42:22	本来あるべきという意味で 4.6. 2.22 再度トライするんですが、佐口さんおっしゃった通り、5 ページの中で、
0:42:32	もくろみとしてはそんなに期待はできないので、当然今までやってきた 4.6. 2.3、2.4 と。
0:42:40	2.5 っていうところを中心にやってきますということを
0:42:46	現時点のもくろみを持って記載しちゃっているんで、建前で書いた 4 ページと本音が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:54	出てる5ページがわかりにくくなっているのではないかなと。
0:42:59	考えておりますなので、ちょっと、本来こうなんだけど現状の我々の獲られているデータからいくとやっぱり全部やりますと、
0:43:09	いうところを読めるように修正をしたいと思います。
0:43:16	%タニですね。
0:43:18	5ページで、調査を並行して実施するっていうようなことが書いているっていうのはわかったんだけど、
0:43:24	これ調査を実施しつつ、例えば、
0:43:28	あれなんですか4.6. 2. 二章D結果が出るんだったら、
0:43:33	このまとめ方がこう変わってくる、これまとめまで全部やるんだけど最後のロジックにどこを重くするかっていうのが、
0:43:46	重みがちょっと違うみたいな言い方なのか。
0:43:50	いや、
0:43:52	ただ、
0:43:54	調査と並行して実施するっていうだけだったらどう扱うのか何かよくわからなくて、
0:44:02	その辺どう考えてるんですかまとめるのはもう、ちゃんと4.6. 2.2が、どんな結果になろうかまとめるのをまとめるっていうことでいいんですか。
0:44:16	はい中部電力天野でございます。はい。そのつもりでいます。
0:44:21	まず、4.6. 2.2これは、すでに、もともと降灰層準とか見えてるわけじゃないので、より深く、
0:44:32	クリプトT e p h r aとかねらいに頑張るといっただけなんでやっぱり期待値が薄いのもうここは頑張るけど、基本的には全部をやり切った上で説明をさせていただきますその結果で、
0:44:45	おそらく記載方法に軽重は出るのかなと思ってますがまだ私たちそこ手持ちのデータを持っていないので、あくまでもくろみとして、そういうつもりでいるということです。
0:44:58	はい。はい。確認できましたこれも、まとめまでしっかりとやっていくっていうことで、
0:45:05	なお、それ、その話を聞いて、改めて確認3ページに、今回こうやりますよっていうのがあるじゃないですか。
0:45:14	0宗から矢印引っ張ってこの緑、緑囲いの中に、青井。
0:45:20	この内容って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:22	5 ページでいうと、どこどこ。
0:45:26	わかる。
0:45:26	右が、
0:45:28	これどっちに合った 6.4. 4.6. 2.3 なのか。
0:45:34	4.6. 2.2 なのか、両方なのか、或いは、全部 4.6. 2.2 から 4.6. 2.5 全部含めた話を、
0:45:46	言ってるんですか。なんか、4 点。
0:45:50	2.32 個見えますよね。
0:45:52	この関係って説明してることと何かちょっと違うような気がするんですけどどう、どうなんでしょうか。
0:46:00	はい新本です 3 ページのスライドの図なんですけどまず、図の下にも書いているんですけど、堆積年代評価のうちの、その年代がすでにわかってる堆積物の関係を見ている。
0:46:13	検討のイメージ図ということで、
0:46:17	5 ページのフローで言いますと 4.6. 2.3。
0:46:23	のところが
0:46:26	説明の流れとして変わっているところになりますのでその点をピックアップして、
0:46:32	つい申し示したものです。
0:46:37	3 ページのスライドです火山ばいいの検討が今回、
0:46:44	1078 回から追加になっている。それはそれで追加にはなってますけれども、イメージ的に、
0:46:54	5 ページで言いますと、一番左の列が追加になってるだけの話になりますんで、
0:47:02	3 ページのスライドで説明したかったのはこの 5 ページの 4.6. 2.3 の中身。
0:47:08	が、1070。
0:47:11	8 回と今回とでどう変わったかというところを少し概念的に示させていただきました。
0:47:18	前回の会合でちょっともう、ヒアリングでこのあたりを、
0:47:23	気にされ、
0:47:24	出たかなと思いましたがちょっとこの辺をピックアップしたという次第です。
0:47:36	規制庁のマツスエですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:40	ちょっと私もよくわからなくなりましたが、5 ページですね。
0:47:46	5 ページに、4.6. 2.2 で上の二つ、
0:47:52	火山灰が、をやって、No だったらよ、4.6 と 2-3 に行くという矢印があるのもみんなそういう火山灰が、
0:48:03	確認してから 2 と 23 をやるんですねっていう説明の前になってるんですね。
0:48:09	でも、今御説明だと並行してやっていますっていうんで、実頭が混乱してくるんですね。それからもう一つ、この図で言うと、
0:48:18	4.6. 2.3 の一番下、
0:48:21	四角で、M I S 5 に至る開始に伴う堆積するとして、その堆積年代を、
0:48:29	1023 万年以前と評価って書いてあるのが 2.4. 6.2. 3 章の中に含まれてるんですけどこれ 4 ページに戻ると。
0:48:39	4.6. 2.4。
0:48:42	の課題になってるんですね。この辺も何か、
0:48:45	言ってること。
0:48:46	事があっちゃこっちゃで、
0:48:49	ずっと読んでいくと、という感じになってちょっとスッと入ってこないんですねその辺。
0:48:56	きちんと統一っちゃうか、
0:49:00	正直というか、
0:49:02	御社のさ、頭の中の整理をきちんとして資料を作っていただけませんか。お願いします。
0:49:16	中部電力の森本です。
0:49:20	年末の審査会合で
0:49:26	いただいたご指摘というのは、
0:49:35	現時点で、
0:49:39	調査結果まだ何もない中で、
0:49:44	どういったことをして、弊社が、
0:49:49	12 から 13 万年前の地層だと、上載層ですね。
0:49:55	決めず。
0:49:57	だという考え方をし、
0:50:00	ちゃんと整理して持ってきて下さい、それと一緒に追加調査なんだというもろみとともにですね。
0:50:07	だったかと。その理解を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:10	しております。
0:50:12	そういった中でちゃんと我々としても
0:50:17	ありとあらゆる手段で、
0:50:20	何か、
0:50:24	年代評価に資する材料がないかということを今一生懸命調査をしているわけなんですけれども、
0:50:32	そういった中で栗栖テフラ、火山灰も含めて調査をして、
0:50:36	おります。
0:50:39	その思考の流れとしては、
0:50:43	まずう。
0:50:45	火山灰が出てくれば、それが降灰層準だという認定がしっかりできれば、
0:50:51	それはちゃんと基準を満たしているし、
0:50:56	そこで検討としては、
0:50:59	クリアになるというもくろみを持った上で、
0:51:02	こういうもくろみですっていうことで、
0:51:06	ちょっと5ページのフローなんかは、
0:51:10	その流れを書いているんですけれども、
0:51:15	なので、
0:51:18	当然可能性が高い低いはありますけれども、
0:51:24	まずは幅広にやっていく中で、こういう答えが出ないからこういう答えが出ないかと。
0:51:30	いうのを、
0:51:31	じゃ何が出れば、
0:51:33	規制委、
0:51:35	基準の適合性上は規制庁タニですけど、はい。
0:51:40	はい。説明は長く聞いてもあれなので、我々言ってるのは、これ中部電力が何をやろうとしてるのが、今のこの
0:51:52	資料の関係でちょっとわかりにくくてその辺事実確認をしていってて、その中でですね、やっぱりこれちょっと何かページごとにちょっと違うなあと、何か伝わらないなっていうようなことを今言う、
0:52:05	てて、だんだん我々も説明聞いてて、考えが少しずつこうわかりかけてきているというようなところなので、この辺中部電力が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:16	どういうふうを考えてるかっていうのがちゃんと資料上わかるようにしてくださいっていうのが、今の我々言ってることの趣旨なので、
0:52:25	ちょっと時間もあるのでどんどん先に進めたいと思いますけど、いいですかね。
0:52:34	はい。わかりました森本です。すいません長々しゃべりまして、よろしくをお願いします。
0:52:43	規制庁の野田ですけど、その上で、3点留意してもらいたいことがあって、
0:52:49	3ページ目と4ページ目を
0:52:52	この関係を見たときに、例えば3ページ目の、右側ですね今後説明していく評価方針の中で、一つ目の火山灰を用いた検討。
0:53:03	これは検討項目の追加じゃないかと思うんですけど、そこはいかがですか。
0:53:22	はい。中部電力の森本です。まずそうですね変更としております追加。
0:53:29	という変更なのでちょっとそのあたりは記載を改めさせていただきます。
0:53:34	規制庁野田ですけど。
0:53:37	そうなんですよ。ここの辺、これタイトルが評価方針の変更点となっているんですけど、私の理解では、この右側の今後の評価方針のところには、検討項目の追加というものと、
0:53:51	あとは、1078回からの検討内容の変更っていう、そういう二つが含まれているんですけど、そういったことが分類されず、差別化されずに、
0:54:03	一つの評価方針というふうに書かれているんで、おそらく、さっき谷の方から事実確認したようなことが生じていますし、さらに言うと、
0:54:15	この3ページの下にある概念図というのは、これはあくまでも、二つんぽつですね、堆積物との関係を用いた検討において、1078回から、今回、どういった、
0:54:28	方針に変えるかっていうところだけが示されているんだと思っているんですけど、そういった理解でよろしいですか。
0:54:39	はい。森元です。今村さんおっしゃった通りです火山灰については改めてというところではありますが追加、それから、
0:54:49	まずは変更点ですね年代既知の堆積物と比較する内容を見直したと。
0:54:56	こういう内容になりますので少しそのあたり差別化してですねプラスになったものと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:01	あと中身が変わったものみたいなところはあえて示させていただきます。
0:55:07	議長ノダですけど。はい、ありがとうございます。タニが今、私の前にコメントした足、事実確認した、そういう全体がわかるようにというのは具体的に言うと、そういうことだと私は認識していますし、
0:55:20	さらに3点目を申し上げると、さっき佐口の方から、コメントがあった通りこの火山灰を用いた検討と、新たに追加された火山灰を用いた検討と。
0:55:31	従前あった、この斎木堆積物との関係を用いた検討、こういったものを、全方位的にやるのか、どちらか重み付け
0:55:41	してやるのか条件付けしてやるのか、私はそういったところも今回この火山灰を用いた検討というものが追加されたことによって生じる評価方針の一つだと認識しているので、そういったことは、その4ページじゃなくて、3ページに記載されてても、
0:55:57	いいんじゃないかと認識してますんで、そういったことも踏まえて、3ページの記載の適正化であるとか、あとは4ページ5ページとの記載の整合性を図ってもらえればと思います。以上です。
0:56:13	はい中部電力森本です。ありがとうございます少しそういった観点でです。ね記載の適正化見直しは図らせていただきます。
0:56:52	規制庁佐口です今日ご説明いただいて先ほどの確認の時にもありましたけど、
0:57:00	5ページはもくろみを持って書いているという、
0:57:04	部分もあるっていうお話でしたけど、この5ページの一番右の、
0:57:09	このグレーのハッチングっていうか、グレーの四角のこの泥層の堆積年代評価方針について再検討してあるんですけど、
0:57:18	これ、
0:57:19	今、フローに載ってる以外に何か別の方法があるってことですかそれとも、いわゆる何でしたっけ、このずっと。
0:57:29	後ろの方にある。
0:57:32	いわゆる、なんでしたっけ。
0:57:35	さらに、木谷。
0:57:37	今のBF4より来た人行ったところの、
0:57:42	1幾つなかわかんないんですけど、こういうものを使った評価と、
0:57:48	いうことを、これはおっしゃっているのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	ちょっと教えてください。
0:57:56	はい。5 ページの右の灰色のところですけどもあくまでここでも、かぎ括弧つきの泥層という今、1 級断層の上載層、
0:58:08	として使っている、泥層の年代をどうやって評価していくかって、
0:58:13	いうところを見直していくと。
0:58:16	いう位置付けでして、
0:58:20	いわゆる B F 1 地点でさらにキタガワに行って上載層の地点を変更するというものでは、今のところはないです。
0:58:29	再検討とはしておりますが、ちょっと
0:58:32	追加調査によってです、追加調査ですねこの差キーじゃ新しく掘ったところから何が出てくるかっていうところにも、
0:58:40	よってですねこの辺りて、
0:58:43	検討方針変わってくるのかなと思っております、
0:58:48	ちょっとその辺りの結果をもってですね、じゃあ次どういう手を打っていくんだというところは、判断、決めていこうと。
0:58:57	いうことを考えておりますのでちょっと具体的に今小高をどうしていくのかって言うては、示せないと。
0:59:03	いう状況です。
0:59:25	規制庁ニシキです。
0:59:28	ちょっとついでに私の方からもその全体のこの 5 ページのところの一つ、
0:59:33	期限、確認したいところなんですけれども、
0:59:37	一番、
0:59:40	右、左側のところで火山灰ん降灰層準が認定できたとしたときに、
0:59:47	最後、何て言いますか再下から矢印 4.6. 2.5 章の泥層と古谷泥層 - 対比ってことで評価の裏付けて引っ張ってきてますけども、
1:00:00	この火山灰の降灰層準が見つかった時には、
1:00:04	この、何て言いますか裏付けまでは、
1:00:07	必要というふうに考えているという理解でよろしいですか。
1:00:24	はい。中部電力の森本です。
1:00:29	あくまで裏付けになりますので、じゃあ 12 から 13 万年前のテフラだというテフラが入っているということが言えれば、ますますそれが御前崎地域が古谷泥層と呼ばれている地層になりますので、
1:00:42	それが古谷泥層と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:44	名前のついているものをどの層準に該当するのかみたいな対比は、必要だと考えています。
1:00:56	規制庁ニシキするということは、何て言いますか、条件としてかつ、
1:01:01	というイメージですかね。単純に層準降灰層準で十二、三万年がわかれば、
1:01:09	古谷泥層そのものと一生懸命対比するところどこまで
1:01:14	基準適合上異議が出てくるのかなってことがちょっとあったのでちょっと確認したところなんですけども、そこはきちんと裏付けまでするという方針でいくということでしょうか。
1:01:26	はい。森元です。勝ではなくて要は基準適合を、を説明する上ではですね12から13万年のテフラが、そこは降灰層準だという認定ができればですけどもそれで、
1:01:40	クリアになってると考えています。
1:01:43	考察として、古谷泥層って呼ばれているものの、どこに当たるのかというところは、当然違う上で必要だと考えてますのでその検討は、
1:01:52	浦邊としてやると。
1:01:54	いう位置付けです。
1:01:59	規制庁ニシキさは、
1:02:01	いわゆる裏付けだっていうことだっていうことですね、今の。
1:02:06	わかりました。
1:02:20	規制庁サービスですけど、
1:02:24	すごく初歩的なのかすごく素朴な疑問なんですけど。
1:02:29	これ火山灰言って、
1:02:33	確かにそこだけで完全に確定できてしまえばいいのかもしれないんですけども、
1:02:41	今火山灰の検討、と言っても、
1:02:46	おそらく抗生物質、今回その角閃石とかのものをもって、
1:02:55	何か四国沖でしたっけ。そういったものを、
1:03:00	同じようなものがあるのかなのかって結局それって回避して、
1:03:05	決めるのかなっていうので、
1:03:07	何かこう、直接的に、
1:03:11	火山灰の分析をしたら、それイコール年代値が出てくるわけじゃないとは、私は思っているんですけど。
1:03:20	そのあたりで、まずちょっと教えてもらっていいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:31	佐々木です。
1:03:34	おっしゃる通り現状はですね、はっきりと、年代既知の火山灰が出てるわけではないので、その
1:03:45	もくろみとしても、ここでクローズはしないというふうには思っています。ただそういった、
1:03:55	最新知見に基づいた火山灰分析なんっていうのも、全くやらずに、
1:04:03	堆積年代評価というのは
1:04:06	不十分だというふうに思ってますので、その火山灰分析っていうのは、だからどこまでやるかというところなんですけども、詳細にできるところまでやって、ある程度このぐらいの、
1:04:19	年代感を持った堆積物なんだろうということが言えれば、そういった4.6. 2.3 との関係。
1:04:26	この分、
1:04:28	今まだちょっと分析途中なので、どっちがどっちを重みづけてやるのかいう、いうところまでは決まりませんが、そういった火山灰分析の結果と堆積物の結果と、
1:04:39	そういった両方をもって、年代評価っていうのをやっていきたいというふうに考えています。
1:04:48	はい。佐口です。ご説明ありがとうございます。私が聞きたかったのは、
1:04:54	そのどっちをやるとか両方やっていくとかじゃなくって、今の火山灰分析イコール数値として、何万年ということが、
1:05:05	出てくるのかどうかということでちょっと、
1:05:08	すごく素朴な疑問なんですけど、お聞きしましたんですね。それは、
1:05:13	なぜかという、結局、いろんな成分分析とか、いろいろ多分されると思うんですけど、それが、例えば、
1:05:23	既知のここ、こういう T e p h r a と成分が、一緒なのか、バッチであるのかはわからないんですけどだから、この T e p h r a だろうという、
1:05:35	対比ですよ。対比をした上で
1:05:39	これは何万年前のものであって多分そういう手法なんじゃないかなと私文献見て思ったんですけど。
1:05:46	そうすると、結局ですね。
1:05:49	ごめんなさい、私の本当に素朴な疑問なんですけど、実は火山灰、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:54	火山灰と言いつつも、
1:05:57	結局これ 4.6. 2.5 章の、
1:06:00	要はその泥層と、これ古谷泥層か、他の火山灰かっていうのは別として、結局これ対比のところに、
1:06:08	入ってくるのかなと思ってですね。
1:06:11	ただ実は、
1:06:13	4.6. 2.5 の、
1:06:15	補強材料でもあるのかなとちょっと思ったんですけど。
1:06:20	そういうわけではないでしょうか。
1:06:30	はい。中部電力の折本です。登坂さんおっしゃいますように火山灰そのものが年代値持つてるわけではないので、
1:06:38	当然どこかに物差し、
1:06:41	前段の方の物差しがあって、そこと同じものが、
1:06:45	入っている入ってない、層状として確認されされないを、
1:06:49	ちょっと調べに行くっていうのが、火山灰分析と今やっているところです。
1:06:54	で、
1:06:55	4.6. 2.3 との関係がどうなんだっていう話になるんですけども、
1:07:06	規制庁サグチすみません 4.6. 2.3 章との関係じゃなくて、逆に言うと私は 4.6. 2.5 の一部なんじゃないかなと。
1:07:17	すごく素朴な疑問として思っただけなんですけど。
1:07:33	笹木です。衛藤。
1:07:38	火山灰による年代評価というのは、
1:07:41	おっしゃるように、
1:07:44	必ず対比が、
1:07:46	必要です。それは、実はどんな有名な広域テフラであっても同じことが言えて、
1:07:53	どっかで対比はして適地の年第一位がこれだから、
1:07:59	きっとこれより古いでしょうとか新しいんでしょうっていう、
1:08:07	判断した上での評価を行わなきゃいけないっていうのは、それはおっしゃる通りです。それで、ただその、
1:08:14	T e p h r a のいいところは、統一時関連としてすぐれているので、そういった中に 3 万年前の地層かどうか判断するっていう時に、有用である。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:25	ということは、これまでの
1:08:29	各サイトでの評価ですとか、或いは学術的な、そういった火山灰による、その堆積物の年代、
1:08:37	推定なんかで用いられているということですので、
1:08:42	おっしゃる通り最後は、その古谷泥層との対比というところはしていかなきゃいけないんですけども、それにしてもその
1:08:53	既存の古谷泥層で、今分析している泥層の中に含まれている火山灰が入っているかどうかというの、
1:09:01	文系を当たった限りでは、出てきていないので、
1:09:08	今、古谷泥層と対比を前面に置いて、火山灰分析でそれに対応を行うということは今ちょっとできないんじゃないかなというふうに思っています。
1:09:17	ただ、
1:09:18	同じような層準のところ、同じような角閃石の、角閃石テフラがあるかどうかという確認はできますので、
1:09:26	そういったことを、自前で古谷泥層のも敷地、或いはそれに準ずる。
1:09:32	ところから、
1:09:34	ところで、火山灰分析をやって行うことで、評価を裏付けできるんじゃないかなというふうには考えています。なので今、
1:09:44	あくまでも、
1:09:46	知られていることと知られていないことを自分たちで分析することしないことというのを分けて、こういった4.6. 2.2の裏付けとして4.6. 2.5という書き方をしています。
1:09:59	以上です。
1:10:02	はい、規制庁サービスわかりました
1:10:06	あと私の勘違いなのかもしれないですけど単純にこれ、今のBF4地点、
1:10:11	1級断層の止めに使っている時点ですね、トレンチ、そこだけでされるのかなと思っていたので今この笹木さんのお話を聞くと、
1:10:22	少なくともそこだけじゃなくて、もう少しほかのところの古谷泥層ってちゃんと言われている文献とかで、
1:10:29	示されているような場所でも同じようなことをしてちゃんと、
1:10:33	確認をするという、
1:10:35	理解でよろしいんですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:39	はい。
1:10:40	それでよろしい。
1:10:49	谷です。
1:10:51	火山灰の話が結構出てるんで、火山灰の
1:10:57	なんていうんですかね、これまで聞いてきたよりも結構なんか前面に出てきたような印象を僕は受けてて、
1:11:04	これってあれなんですかね何かちょっと調査を進めていく中で、大分成立性が高まった可能性が高まったとかそういう状況もあって、今変わったんですかそれとも問題と同じように、
1:11:19	まだまだ全然ちょっと分析、あるかないかもよくわからない中で言うてるのか、その辺の感覚をちょっと掴んでおきたいなと思って聞いてるんですけど。
1:11:29	例えば、もう分析結果あるかないかでいうところピークは掴んだとか、何かこう作業の状況っていうのを教えてもらっていいですか。
1:11:42	はい。森本です。ちょっとご期待に沿えずなんですけど分析結果でまだ案と思て、出てなくてですね。
1:11:52	状況としては
1:11:56	もう年代を、を示せそうなものはもう一度と。
1:12:02	総ざらいで取り組むと的的に調査するという中で、火山灰も含めてやっていると、いうような状況。わかりました。どれぐらい含まれてるかとかどこに含まれているかとかその辺がまだちょっとはっきりしない中で、
1:12:17	今のこの方針っていうことで聞いとけばいいですね。
1:12:23	はい。その通りです。
1:12:26	はい。
1:12:27	えっとねあとねちょっとさっきのさっき聞き漏らしたのかもしれないですけど、結局どこでやってるかっていうと、
1:12:35	どこの地点でやってるかって教えてもらえませんか今資料にあるんだったらここに書いてますって言ってもらったらいんですけど、具体的にこのトレンチとこのトレンチとこのトレンチでやってますとかいうのもあれば、
1:12:47	教えてください。
1:12:57	はい折本です。すいませんダイレクトにですねトレンチ、ここで火山灰をやっていますという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:04	摘採はしておらずにですね今は、
1:13:09	11 ページ、すごくは幅広な絵になって、
1:13:15	恐縮なんですけども、このB F 4 地点付近から、
1:13:19	B F 1 地点にかけて、火山灰分析も含めて検討していると。
1:13:26	いう書き方になっております。
1:13:29	そうですねやってるトレンチ、21 ページにお示ししておりますが、
1:13:35	すでにあるB F 4 地点のトレンチも含めてですねもう一度、
1:13:41	泥層として挙げているところには、では一通り分析はやっているという状況でございます。
1:13:49	はい確認できましたあれですねB F 4 地点の直接H断層地球が出てるところも含めて、その周辺のトレンチでは、今んところや、
1:14:00	てるってことで、さらにその他のっていうのはあれですか他の
1:14:07	今日資料に出てきた比木南だとか比木2だとかそういうところでもやるんですか。
1:14:13	宮内だとか、
1:14:17	さっき説明あったんですけど、
1:14:19	はい、折本です。その時点でもですね分関井としては一通り、
1:14:24	火山灰分析を実施しております。
1:14:31	はい。状況確認できました。ありがとうございます。
1:14:49	規制庁認識です。今ちょっと火山灰のお話が出てるところなので、
1:14:55	関連して私の方から確認したいんですけども、
1:14:59	10 ページのところで、その降灰層準の認定にあたってはってことで上の、
1:15:06	囲みの中の一番下のところに、
1:15:09	書かれていると思うんですけども、
1:15:12	先ほどの笹木さんの御説明とかああいったものは基本
1:15:17	なんていいますかばちっとした火山灰があったときはっていうところがあるかと思うんですけども、
1:15:25	一方今回今、現状もともと泥層をどこに火山灰とかですね、火山灰層でも認めたいな、認められていない中で、クリプトT e p h r a っていうものを、
1:15:38	できないかっていうことで今回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:15:41	チャレンジしようというところだと思うんですけども、そのときには、やはり
1:15:47	クリップどT e p h r aですので、どうやって降灰層準と認定するのかってことがかなり聞き
1:15:54	他に示されて今後リツールで出てきた場合には議論になってくるところかと思しますので、何て言いますかその辺、いかにいかなるデータを示せば、その降灰層準として認定、
1:16:10	できるっていうかそれが説明しきれんかっていうところについては念頭に置いて整理とか今後の資料作りとかしていただければなと思っ ているところで、具体的には
1:16:23	成増挟まってる側の堆積物が一体何なんですかっていわゆる我々最初に 気になってくるのは、リワークとしてその層準のものが入ってきた。
1:16:34	ということ。
1:16:35	下降灰層準として認識できるのかっていうところのその、そこどう、 我々も判断しなきゃいけないのかとかとなってくると、
1:16:44	と思しますので、その辺をきちんと出た場合には説明いただけるよう に、今後結果が出たときにはやっていたいただければなと思っておりますので、 ちょっとあらかじめですけども火山灰に関してのところ、
1:16:57	私の方からも確認と今後、まとめられて、まとめていただく時の要望と いう形で、今お伝えいたしました。以上です。
1:17:09	はい。折本です。西さんのおっしゃったところ承知いたしました。挨拶 と認定にあたっての大事な考え方を、幾つかあるかと思しますので、そ のあたりを留意してですね、結果の方は取りまとめていきたいと思っ ております。
1:17:26	はい。ニシキですよろしく申し上げます逆ん言えば、今書いてるなどよ くわからないっていうところもしてるといふふうに認識いただければと 思いますのでよろしく願いいたします。
1:17:48	規制庁谷です。ちょっと私資料読んで、
1:17:51	何か、
1:17:53	まだちょっとはつきり
1:17:56	詳しく見れてないんですけど、あのね、開始に伴う堆積物っていうのを 説明したりおぼれだの話を、7ページではしたり、
1:18:06	あとは最終的にじゃあ開始に伴う堆積物かどうかっていうのは海成かど うかで判断しているっていうのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:13	何か 99 ページとかにあって、
1:18:16	この辺のですね何か繋がりがよくわかってなくて、開始に伴う堆積物 ってというのは、今のこの話でいうと、
1:18:26	おぼれ谷を埋積した。
1:18:30	内湾堆積物っていうのと高を同じ意味で使っているんですかっていうの をまず確認させてください。
1:18:58	はい。中部電力の森本です。
1:19:01	今、谷さんがご指摘、
1:19:06	いただいたは、7 ペイジーとかに記載。
1:19:11	ている内容。
1:19:13	金戸。
1:19:16	思います。括弧して書い太字で海水準変動の影響とか新川堆積物の関係 ということで、
1:19:28	甲斐シーンに伴う堆積物、
1:19:33	そして、
1:19:34	海成人がどんどん上がっていく過程の中で溜まっていく。
1:19:38	プロ堆積物でどういうものがありますかという整理をここで、
1:19:42	しておりますね。
1:19:43	その中で、回診期に覚えタニだとか内湾とか干潟環境みたいなところで たまった堆積物というのは、
1:19:51	日本だけでもなくて、世界的にも、
1:19:54	依然としてたくさんあると。
1:19:56	いうことをまずキーに目を移して考えると、
1:20:00	その
1:20:03	開始に伴う堆積物として合意のないワン堆積物っていうのが知られてい るというところで、
1:20:10	少し一般的な、世界的にそういう会新規の堆積物ってこういうものです よってという話と、
1:20:18	熊崎に目を移すとどういった、
1:20:21	堆積物が知られていますかっていうところを分けて書いていて、御前崎 の場合は内湾堆積物として古谷泥層が知られていると。
1:20:28	いうところを、分けて書いたつもりでおりますが、
1:20:34	いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:37	はいタニです。なんかねその辺の関係が読んでよくわかんなくなってしまって、結局、
1:20:45	泥層層が海成堆積物っていうのが見えてきたらこれは、開始に伴う堆積物っていう、イコールにできるって考えてるん。
1:20:56	ですか。それを言うと、
1:20:59	開始に伴う堆積物でイコールにできたら、
1:21:03	今度はそれはもう、
1:21:05	いや、大保江田に埋積した内湾堆積物に
1:21:10	なるっていうそういう関係で、論理構成になってるのかっていうのを、
1:21:17	確認したいんです。
1:21:22	はい。森本です。7ページそれから8ページあたりに書いている内容なんですけれども、
1:21:29	御前崎に関しては、表50メートルにある堆積物、
1:21:36	という前提条件のもとになりますけれども、その堆積物が赤石に伴う堆積物だと、いうことが言えれば、それが、
1:21:46	すなわち、国から13万年前、
1:21:52	5eの高海面期の堆積物の階層に当たると。
1:21:57	考えられるということ、7ページそれから8ページで示しております、それがいわゆる古谷泥層、
1:22:06	呼ばれている内湾性の堆積物だそういう名前がついていると。
1:22:11	いうものです。
1:22:12	ということでこの7ページ8ページは、記載をしております。
1:22:22	はい、谷です。はいちょっとじゃそういう目で確認しますね。あとは、最後に聞いたんですけど、
1:22:29	泥層層が海成だったらこれは、
1:22:34	回診。
1:22:36	に伴う堆積物になるっていう理屈なんですっけ。
1:22:46	はい。そのあたり9、
1:22:50	次ですね9ページ。
1:22:53	に記載しておりますけどまず前提としてですね5050メートルにある堆積物だと。
1:23:00	前提があった上で、
1:23:03	それが海成でなお且つ、
1:23:06	御前崎地域に広がりを持って広域的に分布すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:10	いう条件を満たせばそれは菅使い心、
1:23:13	に伴う堆積物であって年代としても、12 から 13 万年前といえるだろうと。
1:23:18	修正という考えで今、検討方針を立てております。
1:23:25	海が海のものだというだけだと、
1:23:31	不十分かなと考えてまして。
1:23:34	取り組みが、回数の上昇とともにたまったものだというのを、
1:23:40	示すにはどうすればいいかと。
1:23:42	考えたときに、
1:23:44	グローバルな現象である回診。
1:23:47	に伴う堆積物であれば、
1:23:50	広がりにはグローバルであるはずだし、
1:23:54	当然海成の、
1:23:55	特徴を示すと、この二つの特徴がベースを満たしているかどうかを、
1:24:00	今回調査で確認しに行っている。
1:24:02	そういう流れです。
1:24:05	開いたりするあれですね、9 ページの上を書いてあることを今言って、
1:24:14	と海成でなかつ広がりを持つたら、これは、
1:24:20	グローバルな現象である開始に伴う堆積物だということに、
1:24:25	判断できるだろうということ言われてるってことですね。
1:24:30	はい。
1:24:33	ちょっとそういう目で資料見M a a S。
1:24:36	はい。おっしゃる通りですねよろしくお願いします。
1:24:42	カイダですけども、ちょっと私も今のところを確認したくて同じような話なのかもしれないですけども、
1:24:50	資料を通じて開始に伴い堆積物で、50 メートルであればっていうのは、何か表現があちこちに出てきて、
1:25:00	じゃあ開始に伴う堆積物っていうのはどういうふうに、
1:25:04	評価するのかっていうのが今ほどおっしゃった 9 ページの
1:25:09	上の箱に、
1:25:11	広域的に分布する。
1:25:14	海成の性状を示すっていうこの二つの特徴を、
1:25:19	がある場合っていうところで、
1:25:22	御説明なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:25	そもそもそのなんていいますか、
1:25:29	回診に伴う堆積物の特徴というこの二つの条件なんですけど、
1:25:35	これっていうのは何か
1:25:37	なんていいますか、教科書みたいのに書いてあるとか、
1:25:41	何かの論文でそういうふうに言っているというか何かそういった裏付けがあるような、
1:25:46	ものなんですかそれとも
1:25:49	中部電力なりの、何ていうか、考察というか、そういったものなんですか。
1:26:00	笹木です。
1:26:05	そもそもですね上載層として、
1:26:11	認定する。
1:26:13	のに、
1:26:16	ここで言うこの資料で言うところの海成段丘堆積物であれば、
1:26:20	十二、三万年前、
1:26:25	の地層であるということがいえるというのは、
1:26:31	改めて私はよ、言うまでもないんですが大丈夫だというふうには思いますので、
1:26:36	それは、なぜ、その中に3万年前の地層、
1:26:41	がいわゆる
1:26:44	M面って言いますかね、下末吉層、下瀬芳野海成等、
1:26:51	が使えるかっていうと、それはあくまでも世界中にグローバルな回診機というのがあって、
1:26:58	それが世界中どこでも十二、三万年前というふうには知られているから、調査位相として認識できる。
1:27:05	ので、
1:27:07	海成段丘堆積物っていうのは上載層として成り立つ。
1:27:10	というのが、まず、基本としてあると思いますんで、
1:27:15	ただし、泥層の場合は泥層なので、そういった、その高海面期の堆積物ではないというのは、
1:27:26	肉眼観察レベルで言ってしまうと。
1:27:30	ほんで、
1:27:31	そうであれば、それに準ずる形で、
1:27:34	その高海面期の堆積物に準ずる形で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:37	そのグローバルな堆積物、
1:27:40	なおかつ、
1:27:41	その高海面期の堆積物よりも古いってことが言えればなおいいんですけど、基本的には、そういった替え新規のグローバルな開始時期の堆積物であって、
1:27:53	そういったものが、海成層、
1:27:57	である。
1:27:58	いうふうに言えれば、
1:28:00	その
1:28:01	海成段丘堆積物に準ずる形で、上載層として成立するんじゃないかというのが、今、基本にあって、こういう書き方をしています。以上です。
1:28:15	カイダですわかりました
1:28:18	こういったのを見たときに、開始に伴う堆積物って言えば、普通だったら、堆積構造なりとかシーケン層状なりとか見て、
1:28:28	判断するっていうのもあるけれどもそういったのも書いてないので、
1:28:32	これは何なのかなっていうのをちょっと今、確認させていただいたんですけども、
1:28:38	おそらく、今ほどご説明あったようにそういった解釈のもと、こういった検討を進めるっていうこと、解釈といってもこれが
1:28:47	要は前提条件になってその条件を満たせば、こういう結論になりますという、
1:28:53	条件設定のところになるので、
1:28:56	ここで中身にあまりちがいないんですけどもそこは
1:29:01	ちゃんとしっかり説明というか、どういう根拠でこういった条件設定するのかというところが、今後わかりやすいように、
1:29:12	説明をしていただかないと、
1:29:16	ちょっと内容的にわからないので、お願いしたいなと思います。
1:29:25	あって、
1:29:27	はい。
1:29:28	あとそれとよろしいですか。
1:29:32	ついでに9ページ出てきたのでCMSS費の話がちょっと出てるんで、
1:29:40	ここの辺りもちょっと火山灰の話とかんと同じで、何か見込みがあるのかなっていうところを確認したくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:50	確か前はもう淡水性のものを示すという話だったし、
1:29:57	もう敷地ですら、
1:30:00	ちよつともう、ほぼ同じように淡水性の
1:30:04	値だとか、
1:30:06	黄鉄鉱が形成されにくい環境だったろうという考察もされてた中で、
1:30:13	この辺ってというのは、やっぱりちよつとこう、
1:30:18	で、各鍵括弧泥層はちよつと駄目だったけどその周囲だったらいけるかもとかっていうそういった話で、また出てきてるのか。
1:30:26	その辺りちよつと、現状わかれば教えていただきたいんですが。
1:30:35	はい中部電力の森本です。分析に関しては火山灰同様ですねCSも含めて、現在実施中ですので、あくまでも、
1:30:45	今はもくろみ。
1:30:48	です。何も結果は出ていません。
1:30:52	以上です。カイダですわかりましたじゃ今、こういった観点で検討を進めていくという、方針ということで
1:31:02	そういった位置付けだということはわかりました。はい。私から以上です。
1:31:13	すいません中部電力天野ですけどよろしいでしょうか。
1:31:20	はいどうぞ。
1:31:22	今日いろいろご確認いただいていてちよつと私たちの資料が、
1:31:28	明確に伝えきれてないので、
1:31:31	記載をさしていただきたいと思ってるのはあくまで今回、
1:31:35	お示ししてるのは、理想的にこういうやり方をやっていけば、
1:31:43	上載層の説明ができるのではないかという論理を一旦、ご提示した上でその中で、調査、いろいろトライをしていきますと、
1:31:54	いう姿勢で書かさせていただいてるので、冒頭にあった火山灰が出たら他やらないのかとか、そういうあたりもあくまでこれ理想的にはこういう流れを、
1:32:06	説明できるように全力で調査をして参るものの当然その中には期待薄なものもあるので、まず我々としては、こういうロジックに対してすべて調査をした上で、
1:32:19	基本は全部説明していきますっていうところを、やっぱり最初を書いておかないもんですから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:27	今日の議論でも火山灰というキーワードに対してそれぞれの方がイメージを持った、
1:32:33	ご確認がありうちが持っているのとまたすりあわないので、話があっちゃこっちゃに言ってるんですけど、ちょっとすみませんこの前提条件がしっかり書けてないことが原因かと。
1:32:45	思いましたのでまず冒頭の辺りに、あくまでこれ、
1:32:48	我々として理想的に説明していくという絵で書いたもので、全部やりますよっていうところはしっかり書かした上であとは結果によって、その中の軽重というのをつけるんだという意思表示をしっかりとしたいと思います。
1:33:06	規制庁の名倉です。
1:33:08	すいませんちょっと途中抜けていたんですけどもしかしたら重複した質問かもしれないんですけど、私自身ちょっと聞いてみたいことがありますて、
1:33:16	それは3ページのところにまず、
1:33:19	右側のところ今後説明していく評価方針の、
1:33:23	来年度のところで、緑色の枠の下のところに、物証による確認というふうにあって、やはり今回の追加調査では物証による確認で、
1:33:37	より現実的に確認していくと文章によりというふうな方針を明らかにしていると思うんですけども、その中でちょっとお聞きしたかったのは、それを関連で4ページ5ページを見ていったときに、
1:33:49	ちょっと一抹の不安がよぎったのは、
1:33:52	4ページで言うところの4.6. 2.3章。
1:33:56	これが5ページでも見えているんですけど、これがメインの流れになっていて、
1:34:02	これさえちゃんと示せば、他の4.6. 2. 二章、4.6. 2.4、4.6. 2.5 っていうのは、
1:34:13	十分な結果がえられなくてもそれでいいんですけどっていうふうにはちょっと見えるんですけどそういうことを、
1:34:20	オオイ、これ言ってるんですか。
1:34:23	私、今、天田さんが言ってることの危惧したことをそのまま、私言ってるのかもしれないんですけど。
1:34:33	この資料を読んだときに私はそういうふうには読みました。
1:34:37	本当にこれ、
1:34:39	4.6. 2.3章だけで、物証を何かえて9ページに書いてあるような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:48	ところで何変えられれば、これだけで主張していきますよ。
1:34:52	4.6. 2.4 ろ 4.6. 2.5 が言えなくても、それだけでもいいんですみたいな、そういうふうに読めてしまったんですけど。
1:35:02	それはそうじゃないんっていう理解でよろしいですかどうなんですか。
1:35:13	はい中部電力の森本です。
1:35:16	少しそういったふうに読めてしまったかもしれませんが、
1:35:21	2.42. 5、それから 2.2 の内容もですねまずしっかりやり切るといいますか。
1:35:29	結果としてはお示し、
1:35:32	すると。
1:35:33	今、特にですね古谷泥層との対比、
1:35:36	2、なんか特にそうなんですけれども、B F 4 地点で、
1:35:40	他、対比に、
1:35:46	いや、古谷泥層と対比 5。
1:35:48	対比するにあたって、
1:35:50	なかなかご納得いただける結果が出てないというのが、
1:35:54	現状かなと思います。まずは、B F 4 地点で、海成層であるなり、
1:36:00	広がりであるなり、そういったところをしっかりと物証として取った上で、
1:36:05	それが古谷泥層と文献で言われているところがどこに当たるのかという検討はしっかり、
1:36:10	やってくと。
1:36:12	というのがお伝えしたいところです。で、まずその 2.3 の中で、その B F 4 地点の、
1:36:21	周りをですねしっかり調査していく中で、
1:36:26	広がりであったり、
1:36:28	海成層に、明らかに海成すると判断できるような層準が出てくればですね。
1:36:34	それはそれで一つの年代として決め、決まりはするものの、それはどこに該当するんだという検討はしっかり、
1:36:40	検討はしていくと。
1:36:43	いうものです。
1:36:46	規制庁の名倉です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:49	今はタクシーがちょっと危惧しているのは5ページのところの4.6、2.3章の中にある。
1:36:56	ひし形のところですね。
1:36:58	これの判断基準が一体何なのかっていうところは、9ページのところに漠と書いてあるんですけども、
1:37:07	正しい。
1:37:08	今まで長年っていうかある程度期間をかけて、今まで示してきた内容を見ると、やっぱり有効な決め手ってのがあまりなかったと。
1:37:19	そういう中で今回追加調査をして、何かこのところが抜本的に改善するようなデータが出てきているのかいないのか。
1:37:29	それにもよるんですけども、それが難しいとなるとやっぱり、4.6、2.4と4.6、2.5のところ、
1:37:38	このところの、重要度が相対的に上がってくるんじゃないかなと。だから今回、私たちはそちらの方の方を期待して、
1:37:46	結構追加調査っていうものを見てきたつもりなんですけれども、ここら辺がですね多分、今の検討状況とのバランスで、いろいろと変わる、
1:37:58	ことはあるかもしれないんですけども、もう何かここは難しそうだからこうしますよっていうふうな雰囲気ちょっと、もう醸し出しすぎちゃっているような気もしないでもない。
1:38:10	なんかそんな感じがしていて、一体今状況は何なのか。
1:38:15	ていうところもしかしたら、
1:38:18	もう、状況とか踏まえながら、今こういう方針を施工してるんですよっていうところの、もうタイミングに来てるのかもしれないんですけども、
1:38:30	ちょっと今の調査状況を何か反映してるような気もしないでもないんですけども。
1:38:37	そこら辺はいかがなですかね。
1:38:39	今はどういうフェーズなのかなという。
1:38:42	方針を説明してるフェーズではなくて、
1:38:45	もう実際の方針というよりもどういうふうに組み合わせてどういうふうにやろうかっていうことところところを、今の検討状況を踏まえて精査し始めているというそういう状況なんですかね。
1:38:59	中部電力浜野でございます。先ほど申し上げた通り、正直ベースでいってもまず理想的にこういう形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:10	説明していく方が、基準適合上の説明ができるのではないかというふう に書いたのが、4 ページ 5 ページになっておりますで、
1:39:25	現地確認いただいたときとかに層状のところなんか、もしかしてこれで すぐわかるんじゃないかというところをご覧いただいたところも当然あ るんですけど今現在、私どもとして
1:39:39	特に試料分析のところ全然まだ今本当に順番に出てきているというと ころでその進捗によって、このフローを、
1:39:49	いじってるっていうところは、実はあんまりなくて、今後出てきたとき に、名倉さんがおっしゃられたように例えば 4.6、2.4 とか 2.5 辺り、
1:40:00	結構いいデータが出てくれば、もう少しここぐっと厚みを載せたりする っていうことも、
1:40:07	説明していければいきたいと思うんです。今日現在においてそこまでは なくてまず、
1:40:13	方向性として理想的にはこういう流れじゃないでしょうかという形で出 して、手持ちとしては、徒歩
1:40:22	後にあったように 1 杯は誇る堀田と、
1:40:27	今までみたいに薄井。
1:40:29	泥層ではなくてもう少し厚みのあるものもあるんでこっから多少なりと もいいデータが出てくるんじゃないかという期待はしているものの、確 実にそこへられてるわけじゃないそういうのは、
1:40:41	現在はつけていないという状況です。
1:40:53	規制庁の名倉です。
1:40:56	ということであれば、
1:40:58	今多角的なアプローチをしていて、評価の中の構成要素に関して、
1:41:05	今こういうことを目的に多分パーツは今幾つか説明されてると思うんで すけど、これをどういうふうに関連づけて組み合わせるのかという論理 展開についてはまだ検討中なんだけれども、
1:41:19	それぞれのどういうアプローチをそれぞれの構成要素に対してどうアプ ローチしているのか。
1:41:25	ということは説明できるのでそこは説明していただく。
1:41:30	ちょっと今の説明を聞いていて本当に実現するのかなとふと疑問に思っ たのは 13 ページの今後の審査工程ですかね。
1:41:40	審査工程というよりも事業者の説明工程ではあるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:44	どれが有力な根拠かというところの、もくろみがどう、どう、どうなるのかというところが、今2月の
1:41:56	下旬に入ったところでそのような状況だとすると、
1:42:00	3月の下旬で調査結果について説明と一致してるんですけど、
1:42:06	それってね、
1:42:07	なかなか難しいんじゃないですか。
1:42:10	現実的に、
1:42:13	何て言うのかな。である程度、何を具体的な物証にして、どういう論理で説明するかというところを、
1:42:25	検討結果として説明するのはもっと後なんじゃないかなと、途中経過として説明するのであれば3月下旬ていうのは理解できるんですけど、ここら辺のスケジューリングとの関係、現状と、
1:42:38	ここら辺をしっかりと、実情に合ったスケジューリングで説明していくことが重要なのではないかなというちょっとふと思いましたがいかがでしょうか。
1:42:50	はい中部電力浜野でございます。おっしゃられる通りで、前回もちょっとご説明したんですが、ここで書いてる3月下旬から4月は、あくまでヒアリングの場に、
1:43:02	最新情報としてまず1回御説明に行きたいなというところを最速で書いているというものでございます。で、一方で、やはり、
1:43:13	その広がりってことで順番に調査地点等をまたふやしていくと、そこが追っかけになってくるところもございますので、
1:43:23	もう少しかかるのかもしれないというところで審査会合まで、この時期にやれるというふうには申し訳ないですけど持ってなくてまず1回、名倉調整官以下の方に、最新の
1:43:36	データ出てきたものを、
1:43:38	からするとこういうこと、今の、
1:43:41	ご説明したフローの中のこの辺りが見えている部分が出てきてこうではないかという話を、
1:43:48	ご説明できるというふうに考えている工程でございます。
1:43:57	規制庁の名倉です。
1:43:59	これ今ヒアリングで聞いてますけど、
1:44:03	いずれ会合にかけるようなものですので、そういう意味では、
1:44:08	何て言うのかな、か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:13	こちらに報告とか途中経過とか説明するか、会合をいつぐらいにというイメージでちょっと書いていただいた方が、
1:44:22	いいのかなという気はちょっとします。
1:44:26	はい。中部電力天野でございます。承知しましたちょっと会合の中で、いつご説明できるかというところを精査して、反映させていただきたいと思えます。
1:44:53	細かい。
1:44:55	ハードル。
1:44:58	あ、谷です。えっとね、26 ページに比木南地点っていう調査状況っていうのが載ってるんですけども、これって、
1:45:07	怒濤欠如区間が、
1:45:10	三子
1:45:11	没頭欠如層準に当たるっていうところを写真撮ってくれてるんですけども、これってずっと上にも、
1:45:19	あれなんですかね古谷の泥層層っていうのは上の方にもこの露頭から連続して、
1:45:26	確認できるようなところなんですか。
1:45:29	これは露頭欠如区間だけが、写真の、
1:45:34	てるっていう。
1:45:35	感じなのかその辺ちょっと確認さしてください。
1:45:42	はい。森本です。この写真ですねちょっと箱書きの中にも書いておりますけど標高で言いますと大体 50 メートルぐらいのところの露頭でございます。
1:45:53	芝さんの文献、
1:45:56	芝ほか 2008 で書かれている柱状図に、そこの評価を照らしますと、
1:46:03	比べるとそれぞれ競うから、全く何も
1:46:09	情報がないところがここの露頭に当たると。
1:46:13	考えておりました、
1:46:16	考えてますで、
1:46:17	これ何で中上宮で言いますと、本当に下の真ん中の中で言いますと、その部分、
1:46:24	だけを見てると、状態です。
1:46:27	上のところの層準まで連続的メールっていはですね実はなくて、この写真で撮った範囲のところ等を、現状確認できていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:37	いう地点になります。
1:46:40	わかりましたこの辺に。だから古谷泥層があるっていうのがわかった上で、
1:46:46	相良層との境界付近の、
1:46:49	それっぽいものを見つけたっていうことなんですかね。
1:46:53	何かずっと上まで例えばどう、この古谷のね、泥層層とかが見えてるんだったら、ああなるほどなってこう思うんですけどまだまだそこまでは確認してないってことで、
1:47:05	はい、理解しました。
1:47:29	規制庁ニシキですけど、
1:47:32	図追加調査の方に話が1回行ってしまいますちょっとも戻っていただいてちょっとこれコメントっていうか、か何か。
1:47:41	適切に書いた方がいいんじゃないのかなと思うところで7ページなんですけれども。
1:47:49	7ページの下、二つあって右側の絵でも模式断面図、模式スター面図があるんですけども、
1:47:57	こういった何かちょっとミスリードさすような線の入れ方をしてるなどと思ってたんですけど、この牧ノ原できそう加古河成先生って書いている矢印のところって、こうやって、
1:48:08	杉山ほかとかだと、
1:48:10	もちい礫層でこれ会員制って書かれてるかと思うんでこれを何か勝手に河成生として言うのはどうなのかなと思うんですけどもそれとももしくは杉山ほかそうは言ってるけれども中部電力の調査として、
1:48:23	はここは河成制だということがわかったからこういうふうに分かれているのか、その辺がちょっとわからなかったのでもっと確認したいんですけど。
1:48:35	はい。条文力モリモトですすいませんちょっとミスリードをするような記載になってますので牧ノ原礫層と言われているものは、
1:48:45	一番左側の
1:48:48	図中にも記載がありますが、あたりになりまして今、
1:48:52	矢印させる範囲がおっしゃる通りうち礫層でかい。
1:48:55	会員制のものになりますんで、少しそのあたりは記載を改めさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:01	規制庁認識です。はい。その辺は結構、この今回の資料の中でも、1000海成から、
1:49:08	遷緩線堆積物とかいわゆる海浜性とかそういったところの堆積物が結構大きいとして、それを海岸、
1:49:17	段丘堆積物として定義されているような中で、今日松原層はいいんですけど、陥り基礎はそういう位置付けなのになあと思って見ているとその辺の例えば、
1:49:29	ここの議論にかかってこないかもしれませんが標高の話だとかそういうことも聞いてくるかなと思ったんですけども、逆にこれは、
1:49:37	何て言いますか。
1:49:39	ここの議論はその後強いかわかっていうところのお話をされているので、その牧ノ原礫層がどんどん伸びてきてこれが海浜成になってくるところは、その後、
1:49:50	いいから、例えば5Dに行くとき中を見てから、関係、
1:49:55	そういう見方をしてるんだってこともおっしゃってるのかなと思ったんですけどそういうわけじゃないっていうことで理解をいたしました。それでもう1点だけちょっと。
1:50:03	この辺のところの、
1:50:05	記述7ページ目のところの基準に関連してで、
1:50:08	上から二つ目のところで、何て言います
1:50:13	何かグローバルな
1:50:16	変化というところの関係でいろんな各地域の例えば小、小原田伊佐礫層とか下野剛とか何要素と書かれてますけども、
1:50:27	多分そういうところはどいう、
1:50:30	済みますか後、
1:50:33	いわゆるターミネーション時にどうい変化が起きていて5Cはどういうふうに乗ってるんだとかそういったところが何か言葉として事例で書かれてるだけで、具体、どうだったのかなっていう、
1:50:43	僕はわかんないすいわゆるそのグローバル物事対応するんだっていうところも一つまず大前提として、ご説明された中で、何だグローバルなもの合ってるのかどうなのかの的どころがいまいちよあの文章だけだと読みきれないなと思ったので適切な
1:51:00	ダム、いいものがあつたら、野瀬。
1:51:02	心ん説明いただければ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:06	全体、グローバルなものとしての説明をしていく中でも、我々としても理解が進むのかなと思いますのでその辺ちょっとまた、
1:51:14	ご検討いただければと思うんですけどもいかがですか。
1:51:24	はい。中部電力森本です。ありがとうございます7ページの下末吉内容それから小原台、佐伯宗辺りですね運用してるものについてはどういったものなのかみたいなものをですね、
1:51:39	ちょっとスライドを、個別に
1:51:42	作るなりしてですねご説明できるようなものを、
1:51:47	1枚2枚、追加させていただきたいと思います。
1:51:53	規制庁認識です。はい。よろしく申し上げます多分。
1:51:57	尾原台ですかそこが多分古谷と似てるんだっていうことを、私もちょっと終わらないの話ちょっと見たりすると、何か、
1:52:06	そう類似性とかがあるのかないなって感じに見たときには何か、
1:52:10	あたりもするのでその辺、説明の中に入れていただければより良いのかなというふうに思ったところです。
1:52:18	それでちょっと追加調査の方先ほどタニの方から話が出たので私の方からも少し追加調査のところで、
1:52:27	確認というかちょっとすごく素朴なところで聞き、確認したいところなんですけども今回そのBF4周りで新しいトレンチ、
1:52:37	ですね何ページだと、
1:52:40	23ページ24ページのところで今回獲られていて、これがBF4地点よりは結構分厚い低層1メートルぐらいの提出堆積物が見つかつ
1:52:52	ているので今後の分析等をしていきますというご説明だったんですけども、
1:52:58	これで例えば23ページの右上のところの図とか、の位置図とか見ると、
1:53:05	泥層が結構いろいろ見つかった中で、例えばここの
1:53:09	1級断層南っていうのがあるところにも泥層が見つかるような、
1:53:15	絵が書かれているんですけども、例えばこういうところで、要は断層を切っている。
1:53:22	断層を含むトレンチっていうのはされないのかなっていう。要は、なぜそういうことをちょっと聞きたいかという、
1:53:30	今の例えば23ページの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:53:33	ところの出題生物が仮にM I S 5 eだとわかった場合にそれが実際、評価しなきゃいけないB F 4 地点にどう引っ張っていくのかっていう時にこの県土上の結果で示しますというのもあるのかもしれないんですけども、
1:53:47	例えばこの南断層のところでも、
1:53:49	ちゃんと載ってますっていうふうに見つければいいのかなと思ったんですけどもその辺はなかなか土地の関係で掘りにくいってところがあるのかどうかっていうその辺ちょっと状況を確認させていただければと思うんですが。
1:54:04	はい。儘田です。今、西さんおっしゃったところはですね実際の検討はしております、
1:54:12	要はB F 4 地点と今まで言ってたところの南カーでですね新しい上載層が示せないかっていうことは、検討はしているところでございます。
1:54:25	まずはですね
1:54:27	泥層堆積物として圧食う見つかったところで、どういった結果が出るのかというところをもってですね
1:54:36	どういった形のトレンチを掘るのが適切かっていうところを検討する。
1:54:42	したいと考えております、
1:54:45	1 個 1 個は、
1:54:47	ここの泥層とどういった繋がりを持つてるのかみたいなのは見ていきたいと思っておりますけれども、現状はまず、
1:54:53	B F 製の周りで出てくる堆積物が、どういった、
1:54:58	特徴を持っているのかっていうのをB F 4 からの展開という位置付けで、調べている段階。
1:55:05	まずそういうフェーズにあるという状態です。これは海成だとか何らか有力な根拠が、
1:55:12	出てくるのであればそれが上載にどう繋がっていくのかっていう次のステップに移っていくのかと。
1:55:17	考えております。
1:55:20	はい。規制庁一色です。まず進めた以上、
1:55:24	コース方向性という演説を、
1:55:26	意味で確認ができました。で、もう一つだけちょっとこの追加調査のところで、
1:55:32	確認したいんですけども、例えば 25 ページのところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:37	地質図が書かれていて、いろんな時点がパッとプロットされてますけども、この地質図で確認して、御社の地質図ってことでよろしいんですよね。
1:55:53	はいモリモトです。これは 25 ページの地質は弊社の地質図になります。
1:56:00	はい。確認できましたその上でなんですけども、今回その宮内地点というものを新たに出してそれは 27 ページのところですかそこで
1:56:12	杉山他の前崎の地質のままの位置で書かれてるからっていうふうになってますがそれって、これには表記されてないところ、今回それを
1:56:22	何て言いますか、要は
1:56:24	御社の地質調査時点でここは古谷泥層として見みなかったところに今回は古谷泥層として考えて、示そうとしているのかとなると、要はもともとの自社の調査結果、
1:56:36	がリニューアルされるような話になってくる気もしたんですけどもその辺どういう関係で整理されようとされてますか。
1:56:47	はい。森本です。修平の実数を示すにあたってですー通り、
1:56:56	C T の周りですね踏査はしているものですね、ちょっと
1:57:02	そこまで確認できてなかった P u b l な目で 1 期出てなかったという状況で今回、より詳細にですね、
1:57:12	文献で言われてる内容等も踏まえながら、改めて調査をして、提出堆積物を見つけたと。
1:57:19	いう位置付けになります。
1:57:21	この辺りは調査結果、今回の方針ということをお示しさせていただきましたけれども、
1:57:26	まず調査結果を示す時にですねもともとここをどういうふうに見ていて、
1:57:31	どういった調査密度で、踏査をしていて今回どういった、
1:57:36	知見だとか、調査をしてこの泥層を見つけたのかという辺りは、丁寧に説明させていただきたいと、調査結果を示す中でですね。
1:57:44	ご説明させていただきたいと思います。
1:57:48	規制庁一色です。御社のその地質図の、その信頼性といいますかそういったところにかかってくるかと思しますのでその辺のブラッシュアップをしてきましたとかそういうふうになってくるかと思うんですけどもその辺の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:03	説明は追々やって、していただければと思います。
1:58:07	本当に最後のところで今回調査地点 2 点引き、南と宮内ってところだけ、だけでは 2 点、追加されてますけども、
1:58:18	これ古谷泥層そのものはもうちょっと北のほうまで分布しているんですけども、あくまで御社が考えてる広範囲広域的なっていうものは、
1:58:27	以前の会合とかでも示していただきましたけども、この
1:58:31	古谷泥層 - タニ二つぐらい大きな金があるうちの南側のタニの中で、一つ広範囲というような、
1:58:40	位置付けて、ただ調査、
1:58:44	対象地点を選定しているというような理解でよろしいですか。
1:58:53	はい。中部電力の森元藤です。概ねその通りなんですけど少し補足させていただきますと、
1:59:03	今回冒頭 4 ページなり、5 ページなりでご説明させていただいている通り、まずは、
1:59:10	上載層として一流がその上に乗っている D 種堆積物が、
1:59:14	どういった広がりを持っているのかと。
1:59:17	いう観点で、要は敷地の方から順番に提出堆積物の広がりってどうなってるんですかっていう検討を今一生懸命やってると。
1:59:25	というような状況ですねそれである程度、
1:59:31	上載層、
1:59:32	理論値の上載層と同じような堆積物が広がりを持っているというところが、
1:59:37	一つ年代を決める上の一つの
1:59:40	部署になるんじゃないかということで、今は位置付けで、今回 1 点追加をしています。
1:59:46	それとは、
1:59:49	それと並行してですね古谷泥層と対比っていう観点は確か
1:59:53	それでその同窓時に対応するんだというところは重要な観点かと思いますので、
1:59:59	まず調査としては、敷地の方から順番にリリース堆積物の広がりを見ますけれども、
2:00:05	古谷泥層のどの層準に当たるのかというところは文献も含めてですね、幅広に、
2:00:11	全体売り上げの全体像として調査をしていくと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:16	まずは文献を中心に調べているというのが現状です。
2:00:20	はい。規制庁のニシキです。考え方についてははい確認できました。私の中の勝手なイメージはその外堀を大きいところから進めていくのかなっていう。
2:00:31	そんな感じでまあ何となく、
2:00:35	思ってたところもあったんですけど、中部電力は、
2:00:38	ありますかその地点から扶桑に広げていくというスタイルスタンスでやっているとこのところ確認はできました。
2:00:49	すいません、笹木で一つよろしいですか。ニシキさんの最初の方のご質問で7ページのところまで小原台と、
2:00:58	ああいう社歴等に関するところなんですけど、すみません細かい話で申し訳ないんですが小原伊佐礫層は今、
2:01:08	10万年、M I S 5 c のその堆積物の事例として出してここに記載しており、泥層等、直接関係あるものではないので、そこだけすいません
2:01:21	訂正させてください。
2:01:25	以上です。はい。失礼しました。朝はい私も終わらないはM I S 5 c の、
2:01:32	目立てにしかしてて要はその下の
2:01:35	何層だった河瀬横須賀宗とかあの辺の物等の関係を多分示したいんだろうなというふうにこれを読んでたのでその辺を説明いただければいいのかなというふうにしてのコメントでした。以上です。
2:01:48	わかりました。はい。はい。ありがとうございます。
2:02:30	すいません。規制庁鈴木ですけど、ちょっと前回のヒアリングの時にも聞いたんですけど、今回考え方をある程度整理し直したんで、
2:02:39	これをいつまで残し残しておくか説明しづらい部分あるんです。14ページ2、14とか15以降なんですけど、
2:02:48	前回の会合で示したのもですね、これ求める武将と、10ページに示した追加調査、及びその他補足的な調査との対応関係を示していつている。
2:03:03	これ、
2:03:04	殊その他補足的な調査って言うてるのは、具体的に、
2:03:10	これ4.6. 4と4.6. 5のことを、4.6. 2.4と4.6. 2.5のことを言ってます。
2:03:20	このこと言ってるのか教えてもらっていいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:28	はい森本です具体的には 15 ページで言いますと、あ、ごめんなさい単純に 10 ページに示すが 4.6. 2.2 等、これも新しいものなんで
2:03:41	当然対応関係はなくて、10 ページ残ってるのって 4.6. 2.3 の
2:03:47	ロジックに必要な調査だけなんで。
2:03:50	その他補足的な調査と言ってるのは、4.6 点。
2:03:55	どこに P 10 に示したが、追加調査だけにかかっているのか。
2:04:00	いやその他補足的な調査にもかかっているのか。
2:04:04	1、
2:04:05	私なりにですね 15 ページ 16 ページのやつを見ていくと、これって 4.6. 2.3 のためにやってんのかなとか 4.6. 2.4 なのとかとかですね。
2:04:16	古地磁気の話は古谷泥層と対比をするって言うてるためにとってるんで、これは 4.6. 2.5 のためなのかなはてなと言いながら、
2:04:25	何か対応すると言ってるんで対応関係があるのかなと想像しながら読んでたんですけど。
2:04:32	すいません 14 ページに書いてある P 10 に示したが書いてかかっているのは追加調査。
2:04:40	五味でございまして、
2:04:46	10 ページで示している内容に補足的な調査、
2:04:50	は入っていない。
2:04:53	ですね。
2:04:54	ちょっと年末の会合の資料でご説明した調査がどこ行ったんだっていう、
2:05:01	ことでそれも並行してやるにはやっているのをそこを、
2:05:07	含めて 15 ページから 17 ページに記載してまして、今回基準適合を考えた上でじゃあ何が必要になってくるのかっていう、
2:05:19	中で、
2:05:22	メインロジックの中から抜け落ちて内容があるのでそれを補足的な調査ということで、
2:05:28	記載させてもらいます。
2:05:31	これちょっと 15 ページから 17 ページで補足的なのは何なのかというのは確かに見えづらくなって見えなくなってますんで、
2:05:39	ごめんなさい、何で 4.6. 2.3 に向けた追加調査ありますよね。
2:05:45	すまメインストリームは書いてあるんだけどそれ以外にも、
2:05:51	細々としたものがあるので、雑多なものですということですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:56	いや単純に、8 ページとかの 4.6. 2.4 と 4.6. 2.5 って、何かここに一行書いてあるだけで、当然、4.6. 2.3 を中心に今書いているので、
2:06:10	なんか何もやってないんですカーというと、多分、ちゅうことが 10 億とかのどこかに、4.6. 2.5。
2:06:20	古谷泥層との対比、裏付けを行うと書いてあって、4.6. 2.3 といえばその回診の泥層が回診のものかどうかっていうところのために
2:06:32	調査してるわけですよ。
2:06:35	あそこから獲られた結果だけで、何か 4.6. 2.5 なんか構成するつもりなのか、実はこの 8 ページには 2 行ぐらいしか書いてないんだけど、
2:06:45	これ 1056 ページの中にもやっぱり、4.6. 2.5 に資する調査が入っていて、
2:06:52	それは、
2:06:53	粛々やってますっていう理解でいいんですかね。ちょっとね、この
2:06:59	進ま波及を伴ったんですけど 4.6. 2.4 とか、特古谷泥層との対比が、何か本当におまけのような扱いに今なっていて、
2:07:08	大分その回診性の堆積物かどうかのところには何か重きを置いたような資料構成上はそうなるだけなんです。
2:07:16	ちょっとそこら辺が、
2:07:20	前回のヒアリングも聞いたんですけど、何かこの 4.6. 2.5 とかってこう完全に放置されたわけではなくて、1056 ページのところにある調査は、一応進んではいる、やってはいるんですよ。
2:07:35	はい森本です。
2:07:38	4 ページにもうちょっと、構成の中でですねそれぞれの章でどういった追加調査をやるんだみたいなところを、
2:07:47	栗野矢印から高枝を出すような形で記載しています。
2:07:53	基本的には 4.6 で 2.3 の中で泥層の分布とす、性状に関する調査はもう全部やり切ると。
2:08:02	やり切るんだけどそれ、その結果を使ってですね古谷泥層と対比泥層の層準に、
2:08:09	当たるんだという、
2:08:11	一種の解釈。
2:08:13	を示していくということで、
2:08:16	他、対比に特化した何か調査をやる。
2:08:20	宇都というよりも、改新。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:24	の堆積物だという示していく過程の中で、出てきた調査結果、
2:08:29	を使って、
2:08:31	古谷泥層と対比、
2:08:33	を行っていくと。
2:08:36	いう。
2:08:37	流れを考えています。そのあたりを、15、16、17 ページにあるやつですよね。これは 4.6. 2.3。
2:08:51	種の調査で、
2:08:53	その中で、確かに所々比木 2 地点の間にもう少し広げて調査するみたいな話は、②、
2:09:03	10 ページとかの中でも出てはきますけど、
2:09:06	基本は 4.6. 2.3 のために調査をする、或いは、4.6. 2.2 の火山灰調査もありますけど、調査はそこのためにやって、当然そこでえられるデータというものは、
2:09:18	あるので、それをもとに、
2:09:21	4.2. 6.2. 4 であればこれかな、P1 地点の例の笠名、相当の話ですよ
2:09:28	ね。
2:09:28	やっぱり古谷泥層の対比だったり、2、
2:09:33	そういうもんなのかなあと、そこにもう展開していくっちゃうことなんですかね。
2:09:43	基本は追加調査というかもともと前回の会合でね、示していたこんなことやって③なことやってますっていうのは、基本は 4.6. 2.3 に収まると
2:09:43	です、クリプト T e p h r a 前回の会合ではなかったんで、
2:09:58	そういう理解で読めばいいわけですね。
2:12:19	入ってない。
2:12:21	あれあごめんなさい、4. 基本的に前回会合で説明聞いてる中 4516 ページのなんか調査っていうのは、これ 4.6. 2.3。
2:12:31	この説明をするための、
2:12:35	調査、
2:12:37	だというご説明で、
2:12:39	いいんですねということなんですけど。
2:12:42	いやそうじゃないものも含んでいるなら一応含んではいますけど、
2:12:46	で言ってもらっただけなんですけど、
2:12:48	4.6. 2.6 とかのものも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:53	含んでいて必ずしも別に回診機の説明ん、直接は使わないものも含んではいますようなんですけど、
2:13:00	どっちなんでしたっけっていう。
2:13:03	チーム電力アマノでございます 14 ページから 17 ページ前のご説明させていただいたのん、再掲という形で、一部直してますが、
2:13:14	入れさしていただいたのは、表にある通り左側に、
2:13:20	前回の審査の中でこういう課題が共通認識しましたよねと。それを 1 個以降漏れなくやるためにこういう部署を取りに行きます。調査手段はこうですという、
2:13:34	書き方で
2:13:36	拾っているというものになりますんで、今回、
2:13:40	お示ししている、10 ページまでの話ってのは、理想的にはこういうロジックで説明していた方がいいであろうということをお示しさせていただいているので、
2:13:54	ここで書いてる項目が必ずしも当然 4.6. 2.3 だけではなくて 3 にも 4 にも棒にも使うものもありますしそのあたり、
2:14:04	関連性を、
2:14:06	少し記載させていただくかちょっとそこまでやりだすと、すごい、多分そこまでやりだすと今からだと結構大変じゃないですかね、やったと思ってるんで、
2:14:17	要は、日本. 6.2. 35 あたりで使うべき中心の調査と、それ以外に、古地磁気みたいに一応補足的にやりますよってところの識別はできるようにさしていただいて、
2:14:33	中心でやるものはこの辺の 2.32. 42.5 ぐらいで使うんですというものが読めるような形で、
2:14:42	明示させていただきたいと思います。はい。
2:14:46	課題ベースでやったものと今回、理想的にはこういうロジックで説明できればっていうベースでやったものと、
2:14:53	両方から何か導き出された、調査しなきゃいけないものとなきゃいけないものデータが、何か完全に不一致だったら、全く意味がなくなるので、おそらくそんなことはないと思うんですけどね。
2:15:04	全部やり出すと確かに磯さん、軽重つかなくなるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:15:09	例えば今後、4.6. 2.3 と明らかに対応するようなものですかね、広域な広がりだとか、海成のその証拠だとかっていうものは、多分そこはダイレクトに、4.6. 2.3。
2:15:22	と繋がるものはしあるんでしょうね。はい。
2:15:27	なんで法関戸とかでもその辺にいくと多分、直接の繋がりがなくなるはずなんで、
2:15:34	はい、中部電力形で、識別がしやすいように今少し、全く 10 ページと繋がりが見えないもんですから、
2:15:44	アグリーそうですね、わかるようにいたします。15、15 ページの泥層の詳細な部分部長がこれは当然 4.6. 2.3 ですよねとか。
2:15:56	笠名礫層と層位関係もまあちょっと微妙か、ちょっと半分関係するかなとか、放散虫。
2:16:04	お話が黒石サンプル数拡大ってのはちょっとざく同斜今残ってるかわかんないんですけど、
2:16:11	放散虫なんか悪いかな。
2:16:13	海成の話。
2:16:15	そして、4.6. 2.32。
2:16:18	直接繋がってるのかなとかちょっとそういう想像では、聞いてたんですけど。
2:16:25	はい中部電力ものです。はい。そういったところの今鈴木さんにご指摘いただいたようなところがこうですよという、当社としての意思表示をしっかりと、
2:16:36	わかるようにさせていただきたいと思います。
2:16:47	はい。あと、すみません調査の進捗でいうと、
2:16:54	例えば 10 ページ、10 ページからいいのかな。
2:16:58	2 ページ層相観察、粒度観察とか県土上確認とかこれは当然こういうことをやるっていう手を書いていて、その進捗は基本 19 ページを見れば、
2:17:11	良いというぐらいでいいですかね。
2:17:14	予見土壌みたいな、記載のあるものは基本的にはもう終わっていて、ボーリングはまだ全部は掘り終わってませんでトレンチは、
2:17:24	今、P地点の1個とBFオオミナミのトレンチにコアこれは掘削済みですと、ただし層相の観察とか試料の採集分析をやってる最中ですか、
2:17:34	基本はこの 19 ページを見れば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:38	良いということですよね。
2:17:43	はい、森本ですこの2ページ以降に入っているところも、一応19ページで網羅してですね
2:17:51	地点ごとに何をやってるのか、何をやってる途中なのかみたいなのは、
2:17:57	まとめたつもりですので、このページでもらう。
2:18:01	そのあたりも終わらせております。
2:18:08	はい。ちょっと1個1個、こう細かく花粉これは今終わってますからってませんかかって聞かれてみるとそこは時間がないので、そこはやめておきますはい。ありがとうございます。
2:18:33	はい。
2:18:48	規制庁ニシキです。
2:18:50	つまずきを、我々の方から確認したかった点については以上になります。
2:18:59	中部電力の方から、何か確認したい事項がありましたらお願いいたしますがいかがですか。
2:19:08	中部電力天野でございます。特にございません今日ご確認いただいて、やはりちょっと冒頭の、特に3号あたりのところで、
2:19:17	我々が何をしていくかっていうところがしっかりお示しできていないんでこの辺りの前提条件のところをしっかりと書いていきたいと思っております。その他わかりにくいところなんかが、
2:19:31	わかりましたので、
2:19:33	しっかりそこは修正させていただきたいと思えます。
2:19:38	はい規制庁ニシキです。そうですね入口論といいますかそもそも論といいますかそのところがやはりそこで打ち切る、しっかり両者認識合わせした上で議論していくっていう入口のところになるかと思えますんでそのところを、
2:19:53	丁寧に説明いただけるのであればわかり
2:19:58	言いやすくなるのかなと思っております。
2:20:06	はい。それではこちらからの確認もし終わりましたので、本日のヒアリングの方は終了したいと思います。
2:20:13	お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。